

第44回定期総会議案書

日時：2025年（令和7年）4月27日（日）
午前10時～

場所：三街区集会所（洋室1）

車返西自治会

第44回 車返西自治会定期総会について

新緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
下記日程で第44回車返西自治会定期総会を開催致します。自治会活動の一層の発展のため、
皆様のご出席とご意見をいただきたくご案内申し上げます。

記

日 時：2025年（令和7年）4月27日（日） 午前10時～12時
場 所：三街区集会所（洋室1）

会場準備の都合上「出席届け」又は「委任状」のいずれかを 4月17日（木）までに
各棟 自治会役員（階段下、掲示板に表示）へ ご提出ください。

き り と り せ ん

第44回 車返西自治会定期総会 出席届け（出席の方）

当日出席します。 2025年（令和7年） 4月 日

_____号棟_____号室 氏名_____

き り と り せ ん

第44回 車返西自治会定期総会 委任状（欠席の方）

当日欠席します。 2025年（令和7年） 4月 日

私は第44回 車返西自治会定期総会の議決について、議長に委任します。

_____号棟_____号室 氏名_____ 印

き り と り せ ん

自治会へのご意見、ご要望、ご質問等が有りましたらお書きください。

_____号棟_____号室 氏名_____

第44回 定期総会議案書 目次

	ページ
第44回 車返西自治会定期総会について 出席届け、委任状	
第44回 定期総会議案書 目次	1
総会議事次第	2
第1号議案	
2024年（令和6年）度 活動のまとめ（成果と課題）	3
2024年（令和6年）度 車返西自治会 活動記録	16
第2号議案	
2024年（令和6年）度 決算報告 及び 会計監査報告	20
第3号議案	
2025年（令和7年）度 活動方針（案）	21
第4号議案	
2025年（令和7年）度 予算（案）	31
第5号議案	
2025年（令和7年）度 役員選任	32
資料1 各部の活動のまとめ（成果と課題）	33
資料2 2025年(10年後)の三街区を考える会で残された課題、修正版2	39
資料3 子育て商品券贈呈時のアンケート結果（2021.12.19 実施）	47
資料4 車返西自治会 個人情報取扱ルール	50
資料5 歴代役員一覧	52

総会議事次第

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1、開会の辞（総会開会宣言） | 副会長 |
| 2、総会議長及び書記の選出 | 副会長 |
| 3、総会議長及び書記の挨拶 | 議長、書記 |
| 4、出席者と委任状の確認（総会成立状況の確認） | 総務部長 |
| 5、議案審議 | |
| 第1号議案 | |
| 2024年（令和6年）度 活動のまとめ（成果と課題） | 会 長 |
| 第2号議案 | |
| 2024年（令和6年）度 決算報告 | 会計長 |
| 2024年（令和6年）度 業務及び会計監査報告 | 監事長 |
| 第3号議案 2025年（令和7年）度 活動方針（案） | 会 長 |
| 第4号議案 2025年（令和7年）度 予 算（案） | 会計長 |
| 第5号議案 2025年（令和7年）度 役員選任 | 副会長 |
| 6、総会議事終了の挨拶 | 議 長 |
| 7、新旧役員挨拶 旧役員挨拶 | 厚生部長 |
| 新役員挨拶 | 会 長 |
| 8、閉会の辞（総会閉会宣言） | 副会長 |

第1号議案

2024年(令和6年)度 活動のまとめ (成果と課題)

—— はじめに ——

長年にわたり自治会活動を牽引してこられた前会長から、若い会長への引き継ぎがスムーズに行われ、同時に若い女性副会長の就任もあり、新鮮な感覚での自治会活動が進行し、活性化を感じさせ、今後に大きな期待を持たせる一年になりました。

自治会と管理組合が支援する中で「キラクナスミカ」が車返西住宅青年部として、キッチンカーパーティーなど様々なイベントを開催し、近隣地域の方々も多数 参加するなど、若い世代を中心とした「地域の活性化とコミュニケーションの充実・力強さ」を感じさせる一年間となりました。

「元気会（PKK）」が、「シニアクラブ（老人会）」として府中市に登録し「芋煮会」「天ぷら講習会」「バス旅行」「サークル支援」等々の活動を展開し、高齢の居住者が自発的・主体的に動き出した重要な転機的一年となりました。「青年部」と「老人会」の活動開始は、三街区のコミュニティ活動の飛躍を感じさせ、期待が膨らみます。

「マイクロプラスチック」「認知症」の学習会に続き、今年度は「令和6年度 東京都地域の底力発展事業」の対象事業を活用し、「スマホ講習会」を開催することができました。当日の準備、運営、片付けなどは「元気会（PKK）」の協力を得て、継続の要望が出る好評な講習会となりました。

今年はコロナ禍後、全面的な活動再開となりましたが、その大きな支えとなったのが、「自治会サポーター（お助け隊）」「文化交流実行委員会」「資源回収ボランティア」「オープンサロン運営ボランティア」「困り事ヘルパー」等々、多くの「自治会協力者」の積極的・献身的な活動にあります。その大切さを改めて痛感した一年となりました。

「第3回 魅力ある20年後の三街区を！」考える会は、前年度の(株)スペースユニオンの報告結果を踏まえ、管理組合と共同で今後の方向性を更に煮詰め確認する必要性から、開催時期を延期し、次年度以降の開催を準備することにしました。

総会で確認された、以下の6本柱に沿って、今年度の成果と課題をまとめます。

- 1、居住者のコミュニケーションを大切にする活動
- 2、高齢化対応と若い世代の参加を促す活動
- 3、子どもたちの安全・安心を確保し顔が見える活動
- 4、魅力ある20年後の三街区を見据えた活動
- 5、関係諸機関及び他団体との連絡連携の強化の活動
- 6、自治会組織の強化の活動

1、居住者のコミュニケーションを大切にする活動

自治会活動の最も大きな目的は、規約第3条（目的）の『すべての会員の福利厚生と親睦をはかり、かつ連帯感を深めて、より一層の文化的で健全な生活を営むために、生活の環境改善、向上発展に寄与する』ことにあります。

多くの「自治会協力者」がコロナ期間中も「持続的・意欲的・献身的」に活動を継続してこられた事が、活動全面再開の最大の力となっており、その大切さを改めて痛感した一年となりました。

1) 押立公園夏まつりについて

2024年は昨年に続き通常開催することができました。昨年は出店者の減少で夏祭り開催そのものが心配されましたが、関係者の努力もあり、今年は従来以上の出店があり、子どもたちや若い世代を中心に、多数の参加者で賑わい、地域の方々が夏祭りの開催を待ち望んでいた事を強く感じさせられました。三街区からも全体の実行委員として10名が参加し、夏祭りの成功に協力することができました。

三街区では従来と同様に「焼きそば」と「飲み物」を販売し、前年度役員経験者、管理組合理事と職員、文化交流実行委員、自治会サポーター、（株）サーカス、オープンサロン運営ボランティア、0歳～小学6年生までの子どもたちに、「焼きそば」と「飲み物」の無料券を贈呈しました。

準備作業や当日の運営では、「自治会サポーター」の方々や、多くの協力者のお陰でスムーズに進める事ができました。

昨年度、早い時間に焼きそばが売り切れたことから「焼きそば」や「飲み物」の発注数を昨年より増やしましたが、今年もまた二日間とも早い時間に売り切れとなり、嬉しい気持ちと、無料招待券を使用できなかった子どもたちには申し訳ない気持ちが残し、他の出店者の販売内容をしっかり確認する必要性を強く感じました。

2) 八幡神社例大祭について

入居当初から地域の活動に関わってこられた多くの方々の地道な努力で、交流が深まり、青年会、太鼓会、囃子連、商店街、氏子の方々と一緒に「八幡神社例大祭」の

主催6団体の一員として「車返西自治会」も参加できる様になっています。

青年会や氏子の方々との事前打ち合わせ、1週間前の神社清掃、前日の提灯の取り付け等々の準備を経て9月7日（土）の巡行を迎えました。最終休息所となっている三街区には、18時頃に巡行の一行が到着し、300名以上の方々のご接待をしました。今年も「うどんが美味しい」と大好評でした。当日青年会からは「今年も心のこもった暖かいもてなし本当にありがとうございます。」との丁寧なお礼のご挨拶がありました。

車返全体の地域づくりの観点から、初めて近隣の集合住宅にもチラシを配りお知らせしました。子ども太鼓の参加者が30名～40名と昨年より増え、元気な太鼓の音を響かせて三街区内を練り歩きました。子どもたちの心には、大切な思い出として残る行事になったものと考えています。

翌日9月8日（日）の神社境内での祭事と子供相撲やカラオケ大会等には、放送機器の設置・管理など、有志約10名が運営の協力に当たりました。

3) フリーマーケットについて

年2回の開催となりましたが、昨年に続き従来の6割程度の出店数にとどまり、昼過ぎには店仕舞いする出店者も多く、コロナの影響の大きさを感じた開催となりました。20年以上前から「リサイクル型都市の形成」を掲げて、フリーマーケットを開催してきました。国際的にはSDGs（持続可能な開発目標）が重要な課題となっている現在、ますます大切な活動になっていると感じています。

居住者の皆様からは、ポスター掲示 前より70名を超える方々から、衣類・雑貨を中心に多くの寄贈品申し込みがありました。例年より売れ残った品物が少ないなど、春、秋ともリサイクルの趣旨を生かした活動となり、売上も順調で自治会の収入に組み入れさせていただきました。

毎昨年まで実施していた「ミニフリーマーケット」で、子どもたちに好評だった「あそびの広場」を別の形で残す方法を検討しましたが、今年度は具体化に至りませんでした。

4) 文化交流実行委員会について

車返地域に於ける『文化活動の活発化と、住民の交流促進』を目的に、今年も15名の実行委員と、8名の自治会担当役員の、計23名の体制で実行委員会を結成し、年間5回の行事を実施してきました。

① 鯉のぼり

4月13日（土）～5月6日（月・祝）の3週間、みんなの広場に33本の鯉のぼりを飾り付けました。初日の4月13日（土）はキッチンカーパーティーの開催があったことから、朝方と夕方の2回に分けての飾り付けになりました。

キッチンカーパーティーと同時開催だったことで、「塗り絵の鯉のぼり作り」には、多数の子どもたちの参加があり、準備したセットが全てはけて賑やかな初日

となりました。子どもたちにはキラクナスミカの駄菓子屋「おキラク堂」で利用できる「お菓子券」を配布するなど、両者でタイアップした活動は相乗効果を生んでいます。

今年も近隣の商店や保育園、介護施設等13ヶ所にポスターを掲示していただきました。連日のように保育園児がみんなの広場で「鯉のぼりの歌」を合唱したり、施設のご高齢の方々が見学に来られたり、素敵な雰囲気を感じ出し、鯉のぼりが地域に浸透していることを感じられ、実行委員やサポーター、居住者の方々も心を躍らせる3週間になりました。

② 七夕飾り

6月15日（土）～7月7日（日）の3週間、みんなの広場に2本の「ロープ」を張り、30本の七夕飾り（吹き流し）を飾り付けました。また「大竹」2本には、参加者に書いてもらった約200枚の短冊を飾り付けました。1週間前の6月9日（日）に開催されたキッチンカーパーティーでも、数点の吹き流しを飾り、短冊に願い事も書いてもらい、参加者には「お菓子券」を配るなどタイアップした活動を進めました。

保育園児や幼稚園児にとどまらず、近隣の方々も多数見学に来られ、飾りつけに触れながら写真を撮り、楽しそうにはしゃぐ姿が印象的でした。

③ みんなの作品展

10月6日（日）～12日（土）の1週間、第22回「みんなの作品展」を開催しました。居住者、南白小児童、六中生徒など、100名を超える方々の出展があり、いずれも力作揃いで、参加者からは好意的な感想、ご意見が多く寄せられました。

小学生、中学生の作品に「目を惹かれ、発想に感心しました。」「力作が多く、自分も家でやってみようと思いました。」等々の意見と一緒に、「力作揃いの中であの地味な作品（マフラー）に目を止めてくださった事がとても嬉しかったです。結構苦労した汗と涙の結晶だったので・・・」という保護者の感想など、作品を選ぶ苦労を感じさせるものもありました。

また「従来 出展してくださった方々の作品が少なくなった」「夏祭りのように近隣自治会との共催も考えては」「団地内だけでなく、近隣の回覧板にもチラシを入れて欲しい」等々、今後の検討材料となるご意見も多くいただく事が出来ました。

④ 正月飾り作り

12月21日（土）は、今年も（株）サーカス様のご協力で「正月飾り」のワークショップを開催しました。毎年（株）サーカス様が正月飾りのアイデアを考え、必要な小物を用意し提供してくださっています。

今年の「お正月風、羽子板飾り」も、斬新で正月の雰囲気を感じさせる素晴らしい作品で、定員を超える参加者で賑やで楽しいワークショップとなりました。

⑤ スプリング寄席

今年度は「スプリングコンサート」から趣向を変えて、3月2日（日）、真打5代目 宝井琴鶴 先生、前座 宝井琴人 さんを招いて「講談の会」を開催しました。

六代目 神田伯山氏 の活躍で人気沸騰中の「日本の伝統話芸」を参加 60名の方々に楽しんでもいただくことができました。

5) オープンサロン談話室について

オープンサロン開設10年目となった2024年は、祝日を除く 月曜日に年間 37回の開催で、約900名の参加者がありました。

新しい運営ボランティアの登録があり、サロン活性化の大きな力になっていると感じさせます。参加者が30名～40名の日が続き、新しくサロンに参加される方が増えています。継続して参加してくださる方が多いのも特徴となっています。

10年間 継続開催してきたボランティアの皆様のパワーが「温かさと安心のある街、ふるさと三街区」形成の貴重な力となっている事を痛感させます。

6) サークル活動の支援・充実・活発化について

長年サークルや自主的活動の「立ち上げ支援」と「バックアップ」を自治会方針として掲げてきました。

2023年3月より活動を始めた「シニアクラブ元気会」（通称 PKK）、2023年12月からキッチンカーパーティーを開始した「キラクナスミカ」（車返西住宅の青年部）と、2つの新組織が活動を開始して2年目を迎えました。

両組織とも「自主的な組織」として、三街区にとどまらず、地域の居住者を対象に活動し、地域全体に明るさや楽しさ、生き甲斐等々の活力を生み出しています。

「シニアクラブ 元気会」(通称 PKK) とサークル活動

「元気会（通称PKK）」は、2024年4月から「シニアクラブ（老人会）」として府中市に登録し、府中市の補助金を活用した「サークル活動」の支援が目立っています。「PKKゴルフ会」や「PKKソフトボール会」など新規のサークルを立ち上げる一方、「ゲームの会」や「オープンサロン」「困りごとヘルパー」「健康体操」「車返農園」「資源回収ボランティア」など従来から活動してきたサークルや組織ともタイアップし、補助金での「サークル活動の支援」を進めており、活動の活発化とコミュニケーションの拡大を進める大きな力となっています。

「キラクナスミカ」（車返西住宅青年部）

若い世代が「地域の活性化とコミュニケーションの充実」を目的に「車返西住宅の青年部」として、「キラクナスミカ」を立ち上げ、年間6回の「キッチンカーパーティー」を開催しました。

近隣の方々も含め、多数の子供や家族連れが参加し、「地域の若返り」と「活性化」に大きな期待を感じさせています。「若い世代」の意欲的な行動が、更に大きく芽をのばし、地域に根をはって積極的に展開されることを願っています。

今後も「自治会」と「管理組合」が協賛団体として、バックアップを継続していくことが、それぞれの役員会で承認されています。久々の新組織・新サークルの立ち上げで、今後は楽しみです。さらに続くサークルが出て欲しいと願っています。

7) 体育やレクリエーション活動について

「桜 & ウォーク」は、毎年多数の方々が春を待ち侘びて、楽しみに参加して下さる行事で、今年度も3月31日（日）に多摩川の堤防の桜を目的に、子どもたちも含め 57名が参加し、ウォーキングと、昼食、ビンゴゲーム等々を楽しみました。車椅子での参加者もあり、誰でも気軽に参加できるレクリエーション活動として親しまれていることを感じさせてくれます。肝心の桜はまだ蕾でしたが、暖かい日差しに恵まれ、差し入れのお酒もいただきながら、楽しいひと時を過ごす事ができました。

従来から「バスツアー(温泉、果物狩り、漁港と海の幸、美術館、名所見学等)」「号棟親睦会」「餅つき」「車返寄席」「車返シアター」等の具体化、体操教室や、押立体育館で年に数回開催される子どもや高齢者でも楽しめる様々なレクリエーション活動や、府中市や近隣施設、近隣サークル等の催し物の紹介などの要望がありました。

今年度は、白糸台・押立地区シニアクラブ連合会 主催の「日帰り研修旅行」に元気会（PKK）が参加者を募りました。2025年2月25日（火）の、横浜中華街での昼食と横浜港クルージングには 36名の申し込みがあり、親しい友人、知人との楽しいバス旅行は好評で、次回も参加したいとの声をたくさんいただきました。

また文化交流実行委員会の主催で、3月には講談を中心に「スプリング寄席」が開催されました。

また「令和6年度 東京都地域の底力発展事業助成金」で自治会が購入したプロジェクターと、管理組合が購入したスクリーンを使用して、「車返シアター」の実施が検討・準備されています。早期の具体化が期待されます。

8) 第51回多摩川清掃と地域清掃デーについて

2024年4月13日（土）に第51回 多摩川清掃が実施されました。コロナ禍から再開した昨年は参加者が少なく、今後どうなるのか心配もしましたが、今年は思った以上に参加者が増えて、ホッとしながらゴミ拾いをしました。多摩川のゴミは一時と比べてずいぶん少なくなったと感じました。

11月23日（土・祝）の「地域清掃デー」は、約25名が2つのルートに分かれて、三街区から、はけの道や、武蔵野台駅前など近隣一帯の清掃に取り組みました。地域の方々からは、「ご苦労様!」「ありがとうございます!」など感謝の声がたくさんありました。持ち帰ったゴミを分別しているところに、ゴミ収集車が来てくれて、集会所横広場も地域もすっきりとし、気持ちの良い取り組みとなりました。

9) テーマを絞った学習会の開催について

2021年は「マイクロプラスチック問題」、2022年は「認知症学習会」を開催しました。2024年度は「令和6年度 東京都地域の底力発展事業助成」を活用し「講師おまかせスマホ教室」を、元気会（PKK）の協力を得て開催しました。11月12日（火）の講習会は、定員の20名の参加者対し、東京都から派遣された講師・助手の方が7名という贅沢な講習会になりました。一人一人の疑問に丁寧な対応があり、参加者からは「今後も継続して開催して欲しい」という要望が出される好評な講習会

になりました。

これまでの記録は「マイクロプラスチック」は ホームページのHOME→NEWS→015を、認知症勉強会は、HOME→広報誌→第173 臨時増刊号をご覧ください。

10) 地域猫対策会について

2016年10月以降、効果的な対策が取れるよう管理組合と協力し、2名ずつの委員を出して「地域猫対策会」を設置し「捕獲、手術、元の場所に戻す、餌やり」の基本サイクルの中で、飼い主のいない猫を無くすことを目指してきました。

三街区内の「飼い主のいない猫」は、2022年5月でいなくなったことから、「集会所横での餌やり」は終了していました。しかし、2024年に入って「飼い主のいない猫」が三街区内で確認され、個人による餌やりの形跡も確認されています。

狭い範囲の猫対策では、一時的に効果を挙げても他地域からの入り込みを防ぐことはできません。府中市も交じえ、広い範囲で残っている「飼い主のいない猫」の根本対策が必要になると思われます。

2、高齢化対応と若い世代の参加を促す活動

昨年から活動を始めた「キラクナスミカ＝青年部」と「シニアクラブ元気会（通称 PKK）」の二つの組織が活発に活動を始め、新しい息吹を感じさせる転機の年となりました。

1) キラクナスミカ＝青年部の活動

「車返西住宅の青年部」として、「キラクナスミカ」が活動を開始し、2ヶ月に一度ずつ、キッチンカーパーティーを開催しました。開催時は「ティラノサークル」、「和菓子の春日井吉乃」、「シティコンサートブラス」、等々の参加もあり、会場を賑やかで楽しい場にしています。また、子ども店長の「おキラク堂」が子ども向け駄菓子を販売し、子どもたちに人気を博しています。参加した子どもたちの成長と、お互いのコミュニケーションの強化にも大きな力となっています。

2024年12月には一周年記念のイベントで駄菓子屋、ジャンケン&ビンゴ大会、クイズラリーなどの活動を展開し「定着してきたね！」との声が広く聞かれる様になっています。

三街区のみならず、団地商店街の協力も得るなど、三街区の枠を超えた、近隣の方々、特に子どもたちの参加者が増え、合わせて自治会活動への参加者も増えるなど、青年部として目的に掲げた「地域の活性化とコミュニケーションの充実」を強く感じさせる意欲的な活動が目立っています。

2) 「シニアクラブ元気会」（通称 PKK）の活動

「元気会（通称 PKK）」は、2024年4月から「シニアクラブ（老人会）」として、府中市に登録し、春の「山うどの天ぷら講習会」、夏の「ビアーガーデン」、冬の

「芋煮会」、2月の「バスツアー」などの活動を積極的に進めています。

三街区以外の近隣の方々の登録もあり、また「賛助会員」として60歳以下の若い世代の登録もあり、2025年3月で130名以上の会員となっています。12月の「第2回芋煮会」は、1回目の2倍の100食を準備しましたが、短時間で完売するなど好評な活動が続いています。

シニアクラブの登録で、府中市から補助金が出るようになり、各種サークル活動の支援も可能となり、目的に掲げている『シニア世代が生き甲斐を持って楽しく元気な生活を送る』活動に大きな役割を果たしています。

3) 若い年代の参加を促す活動と「子育て商品券」・「出産祝い金」の贈呈

2021年から「自治会」と「管理組合」が共同で「子育て商品券」と「出産祝い金」の贈呈を実施し4年目となりました。今年は7月14日（日）に、0歳から小学校6年生までの46名に2,000円の「子育て商品券」を贈呈し、2名に「出産祝い金」（10,000円）を贈呈しました。同時に押立公園夏祭りの「焼きそば」と「飲み物」の無料券も贈呈することができました。今年も2名の新しい命の誕生に「出産祝い金」の贈呈ができたことを喜びたいと思います。

若い世代や子どもたちと直接顔を合わせて話すことで、自治会行事への参加が増え、パトロール等でも若い世代と子どもたちの参加が増えるなど、自治会との距離が縮んでいることを感じさせます。また「キラクナスミカの活動」も、若い世代と子どもたちの参加によって、大きな力になっていると感じています。

4) 敬老商品券の贈呈について

21回目を迎え、9月15日（日）・16日（日・祝）の2日間、331名の皆様に「車返団地商店街」と「コープ府中車返店」で利用できる、2,000円の「敬老商品券」を贈呈させていただきました。

「敬老商品券の贈呈」は、高齢の方々と直接顔を合わせて、近況や体調等をたずねながらコミュニケーションを図る貴重な場となっています。自治会だけで対応が難しい問題は、今年も会場に開設した「府中市地域包括支援センターおしたて」の「生活と健康なんでも相談室」や「車返団地駐在所」の岩井田ご夫妻による「車返団地臨時駐在所」と相談しながら対応させていただきました。参加者からは、公的機関も含めた対応に、安心・安全に繋がると感謝の声をいただきました。331名の方々には、オープンサロンの協力を得て、今年も「サロンの無料招待券」を贈呈することができました。

敬老商品券の原資は、資源回収のアルミ缶、新聞紙、雑誌、雑紙、段ボール等への府中市補助金と、回収業者の補助金、団地商店街と生協車返店の協力金で成り立っています。引き続き資源回収へのご協力をお願い致します。

府中市が実施した「自治会・町会活動コンテスト」の「自慢の取組部門」で『地域商店街と共同で取り組む「敬老商品券の贈呈」』、及び「デジタル部門」で『車返西自治会ホームページ』の2部門に応募しました。残念ながら受賞はなりませんが、多くの方々に「車返西自治会」の活発な活動を知ってもらう効果的な取り組みとなりました。

5) 高齢者や病気の方など援助を必要とする方々への対応について

高齢者や病気の方、一人暮らしの方等、個人では対応が困難な困り事等の「手助けができる組織」として、管理組合と共同で「困り事ヘルパー制度」を立ち上げてから6年目となった2024年は、年間で25件の利用がありました。

粗大ゴミの搬出 8件、朝の資源出し 12件、車椅子の介助 1件、自転車盗難の対応 1件、風呂場のスノコ調整 1件、その他 2件となっています。

高齢者や一人暮らしの方・病気の方など、見守りが必要な方々への対応（案）が出されていましたが具体化に至りませんでした。今後の課題と理解しています。

6) 「府中市地域包括支援センターおしたて」との協力関係の強化

昨年度から名称が「府中市地域包括支援センターおしたて」に変わり、事務所も南白小近くに移転し、歩いて行ける距離になり、多くの方々が介護やデイサービスなどの相談にのっていただける心強い存在となっています。自治会では今年も、敬老商品券贈呈会場で「生活と健康なんでも相談窓口」を開設していただき、「社会福祉士」や「保健師」などの資格を持ったプロの方々に時間をかけて相談にのっていただく事ができました。

7) 資源回収について

21年間継続してきた「敬老商品券贈呈」の原資には、府中市の資源回収の奨励金と、回収業者の小川商店さんの補助金が使われています。（補助金比、府中市：業者＝83：17）府中市の奨励金の減少は、自治会の活動に直接影響してきます。府中市との奨励金増額の交渉は欠かすことができず、「府中市自治会連合会」や「市議会議員」を通じて働きかけを継続してきました。

2023年度から、長年の要求の一部が具体化され、「雑誌・雑紙」の奨励金単価が1kgあたり10円から11円に値上げされ、年間では約1万8000円程の増額となりました。しかし、「新聞紙」「段ボール」「アルミ缶」などは据え置かれたままです。今後も要望を継続していくことが、成果に結びつくものと考えています。

8) 第55回 自治会長と府中市長との懇談会について

「要望内容を次年度予算に反映させたい」との府中市と自治会連合会の意向で、開催時期が早まり、総会の出席票提出時期と重なった為、居住者へのアンケートを実施できませんでした。しかし、他の自治会からどのような要望があるのか、回答が進展しているのかなど確認のため、懇談会には2名が出席しました。市との交渉がどのように進展していくかは、毎年参加する事ではっきり見える部分があります。

府中市に対する要望、意見等のアンケートの実施時期を早めるなどの対応は、今後の重要な課題と認識しています。

3、子どもたちの安全・安心を確保し顔が見える活動

1) 府中市立南白糸台小学校との連携について

10月2日（水）「地域安全マップ作り」の「フィールドワーク」が行われ、三街区からも役員と有志の5名が参加し、3年生と一緒に約1時間 地域を回りアドバイスしました。10月30日（水）には、2年生と地域の方々を対象に発表会がもたれました。

地域安全マップ作りは、「誰でも入りやすく、周りから見えにくい」場所が犯罪を誘発しやすいことから、児童の「気づく力」を育てる活動として、「立正大学の小宮信夫教授」が提唱し、地域の危険な場所を児童の目で確認し、気づくための活動として、南白小では2005年（平成17年）から取り組んでいます。

コロナ禍で中止していた、地域子供広場「つくって遊ぼう！」が、2月22日（土）開催されました。三街区からも5名が参加し、子どもたちと楽しい時間を持つ事ができました。

2) 子どもたちと挨拶のできる地域に(挨拶運動)

長年子どもたちとの挨拶を重視して取り組んできました。

毎週水曜日と隔週火曜日の「資源回収」の時間は、子どもたちの登校時間と重なり、挨拶を交わすことのできる貴重な場となっています。

また「子育て商品券」と「出産祝い金」の贈呈日は、多くの保護者や子どもたちと直接 顔を見て挨拶できる貴重な場になっています。保護者の方が自治会役員と顔見知りになり 挨拶してくれることで、子どもたちも安心して挨拶できる大きなきっかけになっていると理解しています。これまで顔見知りになる機会が少なかった、未就学児との挨拶もこれまで以上に増えてきました。同時に自治会活動に参加する子どもたちが増えていると感じています。

近隣の新しい集合住宅の入居者は、子連れの若い世代が多く、挨拶することで次第に挨拶を交わす方が増えており、また三街区の行事に参加してくださる方も増えています。地域全体の方々と挨拶できる事は、子どもたちの安全安心にもつながる大切な活動と理解しています。

3) 府中市立南白糸台小学校PTA 及び PTA32地区委員会との連携について

「PTA32地区委員会」は三街区、二街区、白糸台4丁目の子どもたちが中心となった南白小PTAの地区委員会です。自治会と「PTA32地区委員会」は、2002年以降毎年、情報交換と懇談会を継続し「地区委員会の資源回収量の確保」と「子どもたちの安全・安心への取組み」等々について話し合ってきました。

今年は初めて両者の話し合いの時間を持つ事ができませんでした。子どもたちの安全と安心を確保していくためにも、PTAとの連携は欠かせないと考えています。次年度以降、再開し継続できるよう取り組んでいきたいと考えています。

4、魅力ある20年後の三街区を見据えた活動

「2025年問題」は、団塊の世代が全て75歳以上になり、全人口の17.8%を占める分岐点の問題でしたが、「団塊ジュニア世代」が、65歳～70歳となる「2040

年問題」が新たな課題と指摘されています。

(厚生労働省「今後の社会保障改革についてー2040年を見据えてー」等)

三街区として20年後を見据えた長期的視点での準備が必要な時期に来ていると考えています。

1) 魅力ある20年後の三街区について

自治会の主催で、2016年から開催した「2025年（10年後）の三街区を考える会」は、第1の柱として「若い世代への働きかけの強化」、第2の柱として「コミュニケーション、健康づくりの一層の推進」、第3の柱として「現集会所の改修、第2集会所の建設などの意見」の3本柱で全体をまとめ、第5回をもって「発展的に解消」となりました。

新しく2023年から「管理組合」と「自治会」の共催で、「建物の老朽化対応」と「コミュニケーションの発展・継続」を柱として「魅力ある20年後の三街区」を考える会を開催してきました。

第2回の昨年は、「長期修繕計画の見直し」を受託している(株)スペースユニオンから、長期にわたり、安全で安心して住み続けるための方向性を考える上で、貴重な「三街区の建物の現状」と「長期にわたる修繕計画の重要性」等々に関する報告がありました。

今年度、第3回の「20年後の三街区を考える会」の開催を予定しておりましたが「管理組合」と「自治会」で、事前討議を深め、方向性と内容について更に煮詰める事が、より効果的な「考える会」の開催につながると判断し、開催を延期することになりました。

2) 居住者が集まれる場所の建設について

「2025年の三街区を考える会」で出された意見を踏まえ、「居住者が集まれる場所（第2集会所、自治会館）」の建設について検討していますが、土地の確保、自己資金の確保、一団地認定の解除、法人化の申請、補助金の確保、居住者の理解、等々解決すべき課題が多くあります。

- ① 三街区のA駐車場、B駐車場は「一団地認定」の区域外の土地になっています。府中市の規制（一団地認定）とは無関係に建築できる可能性があります。（土地確保）
- ② 「府中市市民協働推進部地域コミュニティ課」に相談したところ、「居住者が集まれる場所（第2集会所、自治会館）」等の新築は、最大900万円の補助が受けられるとの丁寧な説明がありました。（補助率50%） また一般財団法人「自治総合センター」も建設や改修に「対象となる事業費の5分の3以内に相当する額で、1,500万円まで」の助成金を出しているとの情報と資料をいただきました。（資金確保）
- ③ 地方自治法の一部改正により、「不動産の保有又は保有予定に関わらず、地域的な共同活動を円滑に行うために、法人格を取得することが可能」になっています。（法人化の申請）

「土地確保」「資金確保」「法人化」の3点を、当面の重点課題と位置付けていましたが、残念ながら、具体的な進展を見る事ができませんでした。

3) 2025年の三街区を考える会で残された課題の実現に向けて

第1回～第5回の考える会で出された課題は、今年度も多くの課題の解決に取り組み、以下の点で前進を見ることができました。前進した内容を加え、【資料2】『修正版』2〔第5回 2025年の三街区を考える会レジュメ〕として、本年度「第44回定期総会議案書」43ページに再掲させていただきました。

- ＊「元気会」（通称 PKK）が、2024年3月に、府中市にシニアクラブ（老人会）として正式登録し活動を開始しました。春の「山うどの天ぷら講習会」、夏の「ビアガーデン」、冬の「芋煮会」、「バスツアー」などの活動に加え、各種サークルの活動の支援など、地域の方々のコミュニケーションの活発化に大きな力を発揮しています。
- ＊「車返西住宅の青年部」として、「キラクナスミカ」が発足し、年間で計6回のキッチンカーパーティーを開催しました。三街区のみならず、近隣地域の方々の参加、子どもや家族連れの参加が増え、合わせて自治会活動への参加者も増えるなど、楽しい雰囲気の中で、地域の活性化が進んでいます。
- ＊ホームページ開設3年目を迎え、防災委員会の情報も発信するなど、情報発信が多様化し、豊かになり、アクセス数も増えている現状を踏まえ、府中市の「自治会・町会活動コンテスト」に応募し、取組を紹介しました。自治会活動を多くの方に知ってもらう点で大きな効果があったと考えています。また自治会、管理組合、防災委員会の3者が一緒になったホームページ「車返西住宅」の具体化も検討しています。
- ＊新入居者に「自主管理」と「三街区の運営システム」を理解して貰えるよう、管理組合と共同で「新入居者説明会」を今年も開催する事ができました。
- ＊課題の一つであった「寄席」を「文化交流実行委員会」の協力で、「スプリング寄席（講談）」として3月2日（日）に、「プロの講談師」2名を招いて実施しました。約60名の参加者で好評な会となりました。文化的な豊かさを広げる大きな力として期待しています。

5、関係諸機関及び他団体との連絡連携の強化の活動

各関係機関及び他団体とは、今年も積極的に連携を強化してきました。

（各組織との関わりの詳細は省略します。）

- 1) 府中警察署 車返団地駐在所
- 2) 府中警察署 府中市防犯協会
- 3) 府中消防署 是政出張所
- 4) 府中市
- 5) 府中市社会福祉協議会、地域包括支援センターおしたて

- 6) 白糸台文化センター
- 7) 車返西住宅管理組合
- 8) 車返西防災委員会
- 9) 近隣自治会、近隣管理組合、夏まつり実行委員会、リサイクルを考える会
- 10) 車返青年会、八幡神社氏子会、車返太鼓会、車返囃子連、商栄会
- 11) 車返団地商店街、コープ府中車返店 等
- 12) 府中市立南白糸台小学校
- 13) 府中市立府中第六中学校
- 14) 府中市自治会連合会

6、自治会組織の強化の活動

- 1) 2017年10月の「自治会サポーター制度」発足以来約 50名の方々が、サポーターに登録し、自治会活動を強力にバックアップしてくださっています。大学生など若い方の登録もあり心強い限りです。今年度は 5月26日（日）自治会役員との 懇談会を開催する事ができました。年度末には退任される役員の方々に、登録をお願いし、快く引き受けていただきました。
- 2) 11月24日（日）に「新入居者説明会」を管理組合と共同で開催しました。
- 3) 今年も見やすく、わかりやすい広報誌「マイタウン西」の発行に努めてきました。
- 4) ホームページはコンスタントに新しい情報に更新し続ける必要があります。実務面や、個人情報保護に関する配慮など、担当者の負担は大きなものがあります。居住者でパソコンとインターネットに関するプロの技術を持つ方が積極的に支援し、支えてくださる事で、ホームページの充実が保たれています。
ホームページを通じて、居住者相互の「情報の共有」「参加の促進」「理解と連帯感の深化」「電子データでの情報の長期保存」ができるようになり、更には地域への「三街区の魅力の発信」が強化されています。
- 5) 高齢化に伴う転居者が増えるとともに、新入居者が増えています。自治会加入を積極的に勧めない限り、加入世帯の減少は避けられません。新入居者への加入勧誘は今後の大きな課題になると考えています。
- 6) 自治会活動賠償責任保険への加入を継続し、自治会活動参加者の安全と安心を確保してきました。

2024年(令和6年)度 自治会活動記録

4月	4月8日(月)	府中市立南白糸台小学校入学式
	4月9日(火)	府中市立府中第六中学校入学式
	4月11日(木)	白糸台文化センターコミュニティ協議会
	4月13日(土)	部長会
	4月13日(土)～5月6日(月・祝)	鯉のぼり飾り(文化交流実行委員会)
	4月13日(土)	キッチンカーパーティー(キラクナスミカ)
	4月13日(土)	多摩川清掃
	4月14日(日)	新役員学習会・新旧役員引継ぎ
	4月14日(日)	役員会
	4月21日(日)	第43回定期総会
5月	5月6日(月・祝)	天ぷら講習会(PKK)
	5月11日(土)	第1回部長会
	5月12日(日)	第1回役員会
	5月21日(火)	白糸台文化センターコミュニティ協議会
	5月26日(日)	サポーター懇談会
	5月28日(火)	府中犯協会総会
	5月31日(火)	マイタウン西181号発行
	5月31日(火)	押立体育館運営協議会
6月	6月 9日(日)	押立公園 春のフリーマーケット
	6月 8日(土)	第2回部長会
	6月 9日(日)	キッチンカーパーティー(キラクナスミカ)
	6月 9日(日)	第2回役員会
	6月15日(土)～7月7日(日)	七夕飾り(文化交流実行委員会)
	6月30日(日)	第2回防災委員会
	6月30日(日)	情報交換会(管理組合・自治会三役)

7月	7月13日(土)～14日(日)	白糸台文化センターまつり
	7月13日(土)	第3回部長会
	7月14日(日)	子育て商品券贈呈
	7月14日(日)	第3回役員会
	7月18日(木)	府中市長との懇談会
	7月27日(土)～28日(日)	押立公園夏まつり
	7月31日(水)	マイタウン西182号発行
8月	8月4日(日)	第3回防災委員会
	8月4日(日)	情報交換会(管理組合・自治会三役)
	8月16日(金)	第4回部長会
	8月17日(土)	キッチンカーパーティー(キラクナスミカ)
	8月18日(日)	第4回役員会
	8月24日(土)	ビアガーデン(PKK)
	8月31日(土)	総合防災訓練(防災委員会)(中止)
9月	9月4日(水)	第5回部長会
	9月7日(土)～8日(日)	八幡神社例大祭
	9月8日(日)	第5回役員会
	9月15日(日)～16日(月・祝)	敬老商品券贈呈
	9月15日(日)	キラクナスミカ報告会(管理組合・自治会)
	9月20日(金)	府中防犯協議会支部部長会議
	9月20日(金)	車返青年会懇親会
	9月29日(日)	第4回防災委員会
	9月29日(日)	情報交換会(管理組合・自治会三役)
	9月30日(月)	マイタウン西183号発行

10月	10月2日(水)	南白小 地域安全マップ作り
	10月6日(日)～12日(土)	みんなの作品展(文化交流実行委員会)
	10月6日(日)	前期会計監査
	10月12日(土)	第6回部長会
	10月13日(日)	第6回役員会
	10月14日(月・祝)	押立体育館・スポーツの集い
	10月20日(日)	府中市制施行70周年記念パレード
	10月26日(土)	キッチンカーパーティー(キラクナスミカ)
	10月30日(水)	南白小地域安全マップ作り発表会
11月	11月3日(日)	押立公園 秋のフリーマーケット
	11月9日(土)	第7回部長会
	11月10日(日)	第7回役員会
	11月11日(月)～15日(金)	秋の防犯パトロール(防災委員会)
	11月12日(火)	スマホ講習会
	11月19日(火)	押立体育館運営協議会
	11月23日(土・祝)	地域清掃デー
	11月24日(日)	第5回防災委員会
	11月24日(日)	情報交換会(管理組合・自治会三役)
12月	12月7日(土)	マイタウン西184号発行
	12月7日(土)	白糸台文化センター防災訓練
	12月7日(土)	キッチンカーパーティー(キラクナスミカ)
	12月7日(土)	第8回部長会
	12月8日(日)	第8回役員会
	12月15日(日)	防災訓練(防災委員会)
	12月21日(土)	正月飾り作り(文化交流実行委員会)
	12月21日(土)～1月10日(金)	年末年始防火・防犯パトロール
	12月22日(日)	芋煮会(PKK)

1月	1月4日(土)	まったりキャンプ気分(キラクナスミカ)
	1月11日(土)	第9回部長会
	1月12日(日)	第9回役員会
	1月26日(日)	第6回防災委員会
	1月26日(日)	情報交換会(管理組合・自治会三役)
2月	2月8日(土)	第10回部長会
	2月9日(日)	第10回役員会
	2月12日(水)	防犯ボランティアパトロール(防災委)
	2月14日(金)	マイタウン西185号発行
	2月16日(日)	キッチンカーパーティー(キラクナスミカ)
	2月22日(土)	南白小「つくって遊ぼう！」
	2月23日(日)	当期会計監査
	2月25日(火)	日帰りバスツアー(PKK)
3月	3月2日(日)	スプリング寄席(文化交流実行委員会)
	3月8日(土)	第11回部長会
	3月9日(日)	第11回役員会
	3月13日(木)	防犯ボランティアパトロール(防災委)
	3月19日(水)	府中市立府中第六中学校卒業式
	3月23日(日)	第7回防災委員会
	3月23日(日)	情報交換会(管理組合・自治会三役)
	3月25日(火)	府中市立南白糸台小学校卒業式
	3月30日(日)	桜&ウォーク

第2号議案

2024年度(令和6年度) 決算報告及び会計監査報告

車返西自治会規約第21条に基づき、下記の決算報告及び会計監査報告を提案致します。

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月31日

記

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減	備 考
会 費	1,380,000	1,337,500	▲ 42,500	250円×442戸×12ヶ月、途中入会11,500円
補 助 金	140,000	140,000	0	府中市自治振興委託料250円×560戸
資源回収代金	700,000	736,950	36,950	資源回収代金は24年4月～25年3月までの入金額
支 援 金	300,000	132,047	▲ 167,953	管理組合より(子育て関連)
雑 収 入	700,000	1,168,631	468,631	夏祭り・フリマ売上、利息等、東京都助成金
前年度繰越金	2,657,000	2,657,000	0	
合 計	5,877,000	6,172,128	295,128	

(支出の部)

科 目		予算額	決算額	増減	備 考
事業活動費	総 務 部	500,000	497,080	2,920	役員会活動経費、保険料等、八幡神社例大祭
	管 理 部	900,000	818,822	81,178	防災委員会拠出金、敬老商品券、子育て商品券
	厚 生 部	800,000	643,262	156,738	押立公園夏祭り、文化交流事業等
	広 報	200,000	72,866	127,134	広報誌発行、ポスター作成等
	計	2,400,000	2,032,030	367,970	
運営費	備 品 費	100,000	282,730	▲ 182,730	パソコン・プロジェクター
	事務・消耗品費	150,000	25,002	124,998	事務用品、コピー代等
	会 議 費	100,000	31,941	68,059	役員会会議関連
	総 会 費	250,000	117,432	132,568	議案書及び規約書印刷等
	慶 弔 費	200,000	60,000	140,000	香典等
	旅費交通費	10,000	2,400	7,600	
	通 信 費	0	0	0	
	役員手当	264,000	264,000	0	¥2000/月×12ヶ月×2人 ¥1,000/月×18名×12ヶ月
	計	1,074,000	783,505	290,495	
予 備 費		100,000	0	100,000	役員用ブルゾンの準備に伴う支出
支出小計		3,574,000	2,815,535	1,318,066	
次年度へ繰越		2,303,000	3,356,593	▲ 1,053,593	
合 計		5,877,000	6,172,128	▲ 295,128	

監査の結果、上記の通り相違のないことを認めます。

2025年3月31日

監事 岡部 桂子 印

監事 古賀 文子 印

第3号議案

2025年(令和7年)度 活動方針 (案)

——はじめに——

新しい会長と女性副会長が就任して2年目を迎えます。新しい視点での新しい活動が徐々に具体化されてきました。新鮮な感覚で活発な自治会活動が進行し、今年が三街区と車返地域にとって飛躍の年になるよう取組みを強めていきます。

「夢と希望を持って子育てできる三街区」の一層の前進を目指します。「子育て商品券」と「出産祝い金」の贈呈を、今年度も管理組合と共同で実施します。また「車返西住宅の青年部=キラクナスミカ」の財政的な支援を含め、若者世代、子育て世代の活動や新規サークルの活動を積極的に支援します。

「高齢者が安全で、安心して生活できる三街区」の一層の前進を目指します。「敬老商品券」の贈呈、「困り事 ヘルパー制度」の活用、「見守りサービス」の紹介、「シニアクラブ 元気会（通称：PKK）」のバックアップなど、高齢者の安全、安心、生きがいに繋がる活動を、積極的に支援します。

管理組合と共同で、第3回の「魅力ある20年後の三街区を！」考える会 の開催に努めます。「建物の老朽化への対応」「居住者の高齢化への対応」のいずれも、居住者の意向を大切にし、三街区の20年後を見据えて、着実な前進を目指します。

ホームページの充実は予想以上の波及効果を生み出しています。さらに、SNSを活用することで、特に若い世代への情報発信の強化を進めます。三街区への関心が高まり、転入を促すツールにもなるよう一層の充実を目指します。

「マイクロプラスチック」「認知症」「スマホ講習会」に次いで、現代を科学的な視点で捉え、日常の生活や、長期的に欠かせない問題について、今年も専門家を招くなど、学びを継続していきます。また文化的な活動への取り組みを一層大切にしていきます。

「2025年の三街区を考える会」で 整理されて、まだ残されている「コミュニケーション、健康づくりの一層の推進」「集会所の改修、第2集会所の建設など」を、今後も具体化できるよう、ひとつ、ひとつ着実に取り組みを進めていきます。

今年度は、次の6本の柱に沿って活動を進めます。

- 1、居住者のコミュニケーションを大切にする活動
- 2、高齢化対応と若い世代の参加を促す活動
- 3、子どもたちの安全・安心を確保し顔が見える活動
- 4、魅力ある20年後の三街区を見据えた活動
- 5、関係諸機関及び他団体との連絡連携の強化の活動
- 6、自治会組織の強化の活動

1、居住者のコミュニケーションを大切にする活動

自治会活動の最も大きな目的は、規約第3条（目的）の『すべての会員の福利厚生と親睦をはかり、かつ連帯感を深めて、より一層の文化的で健全な生活を営むために、生活の環境改善、向上発展に寄与する』ことにあります。

「自治会サポーター」「文化交流実行委員会」「オープンサロン運営ボランティア」「困り事ヘルパー」「資源回収ボランティア」等々、自治会活動を支えてくださる多くの方々の協力を得ながら、しっかりと継続性を確保し、一層のコミュニケーションの活発化と豊かで住みやすい地域づくりを目指します。

1) 押立公園夏まつりについて

押立公園夏まつりは地域の自治会や管理組合など7団体が、費用と人手を出し合い、『信頼と連携を深め、明るく楽しい近隣社会作りを推進する』ことを目的に、30年近く継続して企画運営している一大イベントです。

今年も実行委員を選出し全体の運営に協力します。また、三街区の出店もサポーターの方々と協力し、積極的に進めていきます。

子どもたちがあまりお金をかけずに楽しめるよう、三街区在住の小学生と南白小PTA 32地区委員会に所属する小学生、及び三街区の未就学児を対象に「飲み物無料券」と「焼きそば無料券」を発行します。

これまでの経験を生かし、前年度の役員経験者やサポーターの方々との連携を密にし、業者選定と交渉、設営、販売、衛生、片付け、安全対策等々にも十分な配慮をして取り組みます。

2) 八幡神社例大祭について

入居当初からの長年の地道な努力があつてこそ、地域の方々との交流が深まり、青年会、太鼓会、囃子連、氏子、商店街の方々と一緒に神輿を担いだり、大太鼓を叩いたり、お囃子の山車を引いたり、子ども太鼓を借り受けたりができるようになっていきます。今年も地域の方々との交流を大切にし、主催6団体の一員として、地域の伝統

的行事に参加できるよう努めていきます。

少子化が進む中で、三街区内の「子供太鼓」の巡行に参加する子どもたちが少なくなっています。参加しやすい工夫をしていきます。また二街区や新築の近隣の集合住宅の子どもたちには、情報が届きにくい状況があります。車返全体の地域づくりの観点から、ポスターの掲示やお知らせの配布など対応を進めていきます。

3) フリーマーケットについて

フリーマーケットを主催している「車返地域のリサイクルを考える会」は三多摩地域が神奈川県から東京府へ編入された100周年を記念する事業の一環として、平成6年3月26日に府中市が後押しし、車返地域の自治会や管理組合、有志が参加して設立されました。「リサイクル型都市の形成」と「地域の発展に寄与する」ことを目的として記念事業終了後もフリーマーケットを継続開催してきました。

コロナ禍の中断以後、再開はしたものの出店希望者の減少で、従来の半数程度の出店にとどまり、来場者も減少が心配されています。三街区として出店に協力し、早期に回復できるよう努めていきます。回を重ねるとともに、三街区では居住者の皆様からの寄贈品が増え、売り上げは自治会の貴重な収入源の一つとなっています。

コロナによる中断期間中は「三街区ミニフリーマーケット」と「あそびの広場」を独自に開催してきました。「あそびの広場」は活動を中止していますが、惜しむ声が寄せられています。青年部「キラクナスミカ」との協力も視野にいれ、子どもも大人も一緒に「楽しく遊べる場の開設」を検討していきます。

4) 文化交流実行委員会について

三街区における文化交流活動を、長年にわたって担い、支えてきた実行委員会をしっかりとバックアップしていきます。車返地域に於ける『文化活動の活発化と、住民の交流の促進』がさらに進むよう、予算面からも後押しをしていきます。また実行委員の組織体制の確立に協力し、しっかりと独自性を持って運営できることを目指します。

5) オープンサロン談話室について

誰でも気楽に集まり、お茶を飲んだり、話したりできる場所としての「オープンサロン談話室」は、今年で12年目に入ります。「オープンサロン運営ボランティア」と協力し、マンネリに陥ることなく新規の活動にも取り組み、新しい方々が参加しやすい工夫をしていきます。

「若い世代向けサロン」や「土曜日、日曜日の開催」や、「月曜日以外の平日開催」「子どもたちの参加と幅広い世代の交流」「好天時の中庭開催」等々を要望する声があります。

自治会としては、洋室2のフリースペース化の動きと連携し、憩いの場、コミュニケーションの場、地域の方との交流の場となるよう「オープンサロン運営ボランティア」の活動を後押ししていきます。サロンの利用者が増え、参加者の幅が一層広がるよう居住者の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

6) 地域猫対策会について

三街区内の「飼い主のいない猫」は、2023年度は0匹でしたが、2024年になって新しく1匹が住み着いているとの報告があります。管理組合と協力し、中断している「地域猫対策会」の活動の再開に努めていきます。近隣地域からの流入を防ぐためには、「府中市、管理組合、自治会、ボランティア」で、今後も協力していく必要があります。

7) サークル活動の支援・充実・活発化について

「キラクナスミカ」と「元気会＝シニアクラブ」（通称 PKK）の、新しい組織による、新しい活動が積極的に展開されています。

管理組合とも協力し、これら組織（サークル）活動のバックアップや、新しい組織・サークルの立ち上げへの積極的な支援など、居住者のコミュニケーションの活発化に力を注いでいきます。

サークルや、自主的活動団体で、広報誌「マイタウン西」や「ホームページ」への掲載、活動支援の希望があれば積極的に掲載・支援をしていきます。

8) 「青年部」と「老人会」の活動について

「キラクナスミカ」（車返西住宅青年部）

初めて若い世代が「車返西住宅の青年部」を立ち上げ、『地域の活性化とコミュニケーションの充実』を目的に活動を開始しました。若い世代の意欲的な行動が、更に大きく芽をのばし、地域に根を張って積極的に展開されるよう、自治会は協賛団体として、財政面も含めバックアップを強めていきます。

「シニアクラブ 元気会」（通称 PKK）

三街区の高齢者が中心となって「シニアクラブ（老人会）」が結成され『シニア世代が生き甲斐を持って、楽しく元気な生活を送る』事を目的に多面的に活動を展開しています。多面的な活動が、更に積極的に展開されるよう、自治会は財政面も含めバックアップを強めていきます。

9) 体育やレクリエーション活動について

これまでの経験を生かし、より楽しく参加できる「桜&ウォーク」を工夫していきます。従来から継続して要求が出ている、「バスツアー(温泉、果物狩り、漁港と海の幸、等)」「餅つき」「車返寄席」「車返シアター」等の具体化を検討します。活動内容によっては、「シニアクラブ」や「キラクナスミカ」との連携を探っていきます。

また高齢化の現状を踏まえ、安全を第一条件とした体操教室や、押立体育館で年に数回開催される、子どもや高齢者でも楽しめる様々なレクリエーション活動や、府中市や近隣施設、近隣サークル等の催し物の紹介なども継続していきます。

可能な限りホームページへの掲載も検討していきます。

10) 第52回多摩川清掃と地域清掃デーについて

2025年4月12日（土）に府中市が実施予定の、第52回多摩川清掃に取り組みます。多摩川をはじめとした豊かな自然、また、まちの良好な生活環境を守るため、今年も清掃活動を通じた環境美化の活動に参加していきます。

11月22日（土）に「地域清掃デー」を実施します。「地域清掃デー」は、三街区から武蔵野台駅前、南白小横、ハケの道沿いを清掃することで、地域の方々に三街区の取り組みが直接見える大切な「地域貢献」と「コミュニケーション」活動の一つであり今年も積極的に取り組んでいきます。

2、高齢化対応と若い世代の参加を促す活動

誰も歳を取ることは避けられませんが、高齢になっても元気に生き甲斐のある生活が続けることができれば幸いです。また若い世代が地域の活動に積極的に参加し、地域の活性化を促し、活動の継続性を維持できれば嬉しいことです。

自治会活動が少しでも居住者の皆様の役に立つことを願い、今後も具体的で効果的な活動を目指していきます。

1) 若い世代の参加を促す活動と「子育て商品券」及び「出産祝い金」の贈呈

「子育て商品券」や「出産祝い金」は、子育てを応援しながら、若い世代に「自治会」や「管理組合」「防災委員会」への関心を持ってもらうと同時に、積極的に参加してもらうことで、三街区における地域活動の「活性化」と「継続性」を図って行くことを目的の一つとしています。今年も管理組合と共同で、「子育て商品券」「出産祝い金」の贈呈を継続していきます。

少子化がこれまで以上に進む中で、子育て商品券の贈呈金額や、贈呈年齢などの検討も必要になるかと考えています。

「2025年（10年後）の三街区を考える会」で子育てに関わり出された意見を大切にし、今後に残されている課題の具体化を探っていきます。

【47P 資料 3 参照】

2) 敬老商品券の贈呈について

少子高齢化が進行する中で、2002年に発生した孤独死をきっかけに、高齢者の実状を正確に把握する重要性が強く認識されるようになりました。当時「自治会」

「管理組合」「防災委員会」とも、居住者の正確な情報は持っていませんでした。府中市の「福祉保険部 高齢者支援課」や「地域包括支援センター」とも相談し、2年にわたる話し合いの結果、団地商店街で利用できる「敬老商品券」の贈呈を方針化し、総会で承認をいただきました。団地商店街からは「取り組みに大賛成なので商店街で費用の2割を負担させて欲しい。」との申し出をいただきました。2020年コープ府中車返店の開店後は、直ちに申し入れて「地域の活性化に貢献する」という点で合意に達し、費用の1割を負担していただくことが可能になりました。

贈呈当日は「地域包括支援センター」に「困りごとなんでも相談室」を開設して

いただき、直ぐその場で相談できる体制を準備しました。その後「団地駐在所」からも参加の依頼があり、毎年「臨時派出所」の開設をお願いしています。

敬老商品券の贈呈は、高齢者の様子がわかる貴重な場であると同時に、直接意見や要望を聞くことのできる大切な場ともなっています。

敬老商品券の財源は「資源回収」に対する「府中市と回収業者（小川商店）さん」の補助金を活用しています。今年も資源回収に取り組み、財源を確保し、商品券の贈呈を継続していきます。贈呈時には「府中市地域包括支援センターおしたて」「車返団地駐在所」と協力し、会場に相談窓口の開設を目指します。また「オープンサロン談話室」の「運営ボランティア」と協力し、サロンの「無料招待券の贈呈」を継続実施します。

3) 高齢者や病気の方など援助を必要とする方々への対応について

「困り事 ヘルパー制度」の利用者が増えるよう広報活動を進めます。若いヘルパー登録者の増加など、活動しながら制度と組織の充実も図っていきます。

自治会と管理組合だけではなく、社会福祉協議会や地域包括支援センター、民生委員、府中市等々外部の組織との協力と情報の共有も強めていきます。

災害時や急病時などに居住者一人一人が日頃から備えができるよう、「安否確認と緊急対応サービスの種類別一覧」（改定版）の再発行や、二街区で取り組んでいる「見守りサービス、3社の案内」なども参考とし、今後も可能な情報提供を進めていきます。

4) 「府中市地域包括支援センターおしたて」との協力関係の強化

急速に進む高齢化の中で、『高齢者の尊厳保持と自立生活支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けること』を大きな目標に「府中市地域包括支援センターおしたて」では「社会福祉士」や「保健師」などの資格を持ったプロが、自治会だけでは対応が難しい様々な問題に複数で対応しています。

今後も一層連携を強め、効果的な高齢者対策に活かしていきます。

5) 資源回収について

資源回収による府中市と回収業者さんからの補助金は、敬老商品券等の原資として大切な財源となっています。小川商店さんに第1、第3、第5土曜日に紙類と、アルミ製品の回収をお願いしています。又、府中市が回収している、火曜日の「アルミ製品」と水曜日の「紙類」は、府中市の了解を得て自治会で階段下から回収しています。第2、第4土曜日に回収しているPTA32地区委員会とも協力し、継続して回収に取り組んでいきます。

市が実施している資源回収は、紙類（雑誌、雑紙、新聞、段ボール、紙パック）の回収経費として35円/kgを税金から回収業者さんに支払っています。（2025年1月27日発行「府中市のごみ」33号参照）

しかし、自治会が資源回収を行うと、13円/kg～14円/kg の支出で回収すること

が可能です。自治会の収入となるだけでなく、府中市にとって（我々市民にとって）は大幅な税金の節約にもなります。

また資源回収は資源と自然の保護、エネルギーの節約、ごみ処理費用の節減、埋立処分場の延命化、補助金収入等々につながる大切な活動の一環にもなります。

古紙1トンは、緑の立木20本に相当し、また空き缶を利用して、アルミ地金をつくと、新しく作るときにくらべ、約97%電力を節約できると言われています。

6) 第55回 自治会長と府中市長との懇談会について

府中市長への要望提出のためのアンケートが、定期総会の出欠確認時期と重なり、アンケートの実施がやりにくくなっています。府中市長との懇談会に提出した要望は、集会所前道路の改修や、安全標識の設置、押立公園のトイレの改修、押立公園の排水の改修、樹木の剪定等々多くの成果につながっています。

居住者へのアンケート実施時期を早めるなど対応を工夫していきます。

3、子どもたちの安全・安心を確保し顔が見える活動

子どもたちが元気で明るく生活できる地域は、高齢者を含む全ての居住者にとっても安心できる地域です。誰にとっても「安全・安心の地域」となることを願って、今年も次の活動に取り組んでいきます。

1) 府中市立南白糸台小学校との連携について

今年度も「地域安全マップ作り」「つくって遊ぼう!」「避難訓練」「パトロール」等々の活動参加を目指し、南白小との連携を強め、子どもたちの安全を見守り成長を支援します。

2) 子どもたちと挨拶のできる地域に(挨拶運動)

「挨拶」は子どもたちとできる大切なコミュニケーションの一つです。

地域の子供たちと大人が互いに顔見知りとなり、挨拶できる関係は「安全・安心」そして「見守り」へとつながる大切な活動になります。今年も「南白小」で推進している挨拶運動とも連携し、積極的に子どもたちとの挨拶運動を進めていきます。

「子育て商品券」と「出産祝い金」贈呈以降、子どもたちとの挨拶が増えています。特に未就学児との挨拶が増えており、大切にし力を入れていきます。居住者の皆様のご理解とご協力、ご参加をお願い致します。

近隣の集合住宅の入居者は子連れの若い世代が多く、挨拶することで次第に言葉を交わす方が増えており、三街区の行事に参加してくださる方も増えています。地域全体の方々と挨拶できることは、子どもたちの安全安心にもつながる大切な活動と理解しています。

子どもにも、大人にも挨拶が飛び交う地域となるよう、積極的に挨拶運動を継続していきます。

3) 府中市立南白糸台小学校PTA 及び PTA32地区委員会との連携について

「PTA32地区委員会」は三街区、二街区、白糸台4丁目の子どもたちが中心となった南白小PTAの地区委員会です。自治会と「PTA32地区委員会」は、2002年以降毎年、情報交換と懇談会を継続し「地区委員会の資源回収量の確保」と「子どもたちの安全・安心への取組み」等々について話し合ってきました。

「子ども緊急避難の家」は毎年地区委員を通じて1軒1軒継続のお願いをしています。今年も協力関係を強化していきます。

4、魅力ある20年後の三街区を見据えた活動

第3回「魅力ある20年後の三街区を！」考える会を、早期に開催できるよう管理組合とともに準備を進めます。

1) 魅力ある20年後の三街区について

2024年1月20日 に開催した、第2回の「魅力ある20年後の三街区を！」考える会は、三街区の「建物の現状」と「中・長期的な見通し」について、（株）スペースユニオンから報告をもらいました。

RC（鉄筋コンクリート）造りの建造物の耐用年数は、資料によって 40年～150年と大きく異なっていますが、「定期的・計画的な修繕で、耐用年数は大幅に高まる」との感を強く受けました。しかし「高層階に住む高齢者対策や、耐用年数はどこまで伸びるのか」など課題は残ります。

一方、建替えによる「メリット」「デメリット」については、今後の検討課題として残っています。賛否にかかわらず、20年後（これから先の三街区を見据えた上で）「長期修繕」と「建替え」の両方をしっかりと検証していく必要があると思われます。

現状を十分に把握した上で、自治会は、管理組合との協力関係を強めながら、取り組みを進めていきます。

2) 居住者が集まれる場所の建設について

「2025年の三街区を考える会」で出された意見を踏まえ、「居住者が集まれる場所（第2集会所、自治会館）」の建設について前向きに検討していますが、土地の確保、自己資金の確保、一団地認定の解除、法人化の申請、補助金の確保、居住者の理解、等々解決すべき課題が多くあります。着実な前進を目指していきます。

- ① 三街区のA駐車場、B駐車場は「一団地認定」の区域外の土地になっています。府中市の規制（一団地認定）とは無関係に建築できる可能性があります。
- ② 「府中市市民協働推進部地域コミュニティ課」に相談したところ、「居住者が集まれる場所（第2集会所、自治会館）」等の新築は、最大900万円の補助が受けられるとの丁寧な説明がありました。（補助率50%）

また一般財団法人「自治総合センター」も建設や改修に「対象となる事業費の5分の3以内に相当する額で、1,500万円まで。」の助成金を出しているとの情報と資料をいただきました。

- ③ 地方自治法の一部改正により、「不動産の保有又は保有予定に関わらず、地域的な共同活動を円滑に行うために、法人格を取得することが可能」になっています。

今後一つ一つの課題をいかにクリアーするか、丁寧に準備を進めていきます。

3) 2025年（10年後）の三街区を考える会で残された課題の実現に向けて

第1回～第5回の考える会で出された課題は「改訂版2、第5回考える会のレジュメ」としてまとめさせていただきました。【39P 資料2 参照】

残された課題の解決に向け取り組みを継続し一つ一つ着実に前進させていきます。

5、関係諸機関及び他団体との連絡連携強化の活動

下記 1)~14)の各関係機関及び他団体とは、今後とも連絡・連携を強化していきます。

- 1) 府中警察署 車返団地駐在所
- 2) 府中警察署、府中市防犯協会
- 3) 府中消防署 是政出張所
- 4) 府中市
 - * 総務管理部 防災危機管理課（防災訓練関係）
 - * 市民協働推進部 地域コミュニティ課（文化センター関係）
 - * 生活環境部 地域安全対策課（パトロール関係）
 - * 生活環境部 資源循環推進課（ゴミ出し、資源回収関係）
 - * 生活環境部 環境政策課（地域清掃関係）
 - * 都市整備部 道路課（街灯修理関係）
 - * 都市整備部 公園緑地課（公園使用、管理関係）
 - * 福祉保健部 高齢者支援課（介護保険、高齢者支援関係）
 - * 子ども家庭部 児童青少年課（防犯、学童クラブ関係）
 - * 教育部 教育総務課（南白小コミュニティ、六中関係）
- 5) 府中市社会福祉協議会、地域包括支援センターおしたて
- 6) 白糸台文化センター
- 7) 車返西住宅管理組合
- 8) 車返西防災委員会
- 9) 近隣自治会、近隣管理組合、夏まつり実行委員会、リサイクルを考える会
- 10) 車返青年会、八幡神社氏子会、車返太鼓会、車返囃子連、商栄会
- 11) 車返団地商店街、コープ府中車返店、等
- 12) 府中市立南白糸台小学校
- 13) 府中市立府中第六中学校
- 14) 府中市自治会連合会

6、自治会組織の強化の活動

- 1) 「自治会サポーター」制度の登録者がさらに増え、裾野が広がることは自治会活動の「活性化と継続性」にとって重要な柱になります。登録者が増えるよう取り組んでいきます。また今年も新役員会発足後に、サポーターの皆様と自治会役員との顔合わせを兼ねて「懇談会」を開催し、協力体制の強化を図っていきます。
- 2) 自治会未加入の方々に加入の案内をします。
- 3) 新入居者に「自治会、管理組合、防災委員会、三街区の仕組み等々」を理解してもらうため「新入居者説明会」を管理組合と共同で開催します。
- 4) 棟世話人、階段当番の皆様には「新年度役員の選出」「秋、冬の年2回のパトロール」「夏の総合防災訓練」「炊出し訓練」「年末大掃除」等々で活動にご協力をいただいております。棟世話人、階段当番の活動は、自治会、管理組合、防災委員会活動の活性化と前進に直結しています。今年度も自治会規約第13条（棟世話人、階段当番の設置）の主旨を活かし、活動の一層の円滑化に努めていきます。一方、高齢化の進行に伴い、制度のあり方も検討が必要との意見も出ています。
- 5) 広報誌「マイタウン西」の一層の充実と、見やすくわかりやすいお知らせ、掲示物の発行に努めます。
- 6) ホームページの充実にも努め「自治会活動の公開」「迅速な情報の共有」を通じて、より住みやすい生活環境づくりを進めます。また、三街区に転入を検討している方々に三街区の魅力を発信していきます。
- 7) SNSを活用した情報発信と拡散の強化を検討していきます。
- 8) 「自治会活動賠償責任保険」への加入を継続し、自治会活動参加者の安全と安心を確保することに努めます。自治会活動だけではなく、防災委員会活動や活動終了後の帰宅時の事故等も含め、自治会長が保険の対象になると判断した事例はすべて保険対象となる保険制度です。

第4号議案

2025年度(令和7年度) 予算 (案)

(収入の部)

(単位:円)

科 目	2024年度		2025年度	備 考
	予算額	決算額	予算額	
会 費	1,380,000	1,337,500	1,350,000	@¥250×450戸×12ヶ月
補 助 金	140,000	140,000	140,000	府中市自治振興委託料@ ¥250×560戸
資源回収代金	700,000	736,950	700,000	
支 援 金	300,000	132,047	300,000	管理組合より(子育て関連)
雑 収 入	700,000	1,168,631	600,000	夏祭り、フリマ売り上げ、例大祭寄付金、東京都助成金
前年度繰越金	2,657,000	2,657,000	3,356,593	
合 計	5,877,000	6,172,128	6,446,593	

(支出の部)

科 目		2024年度		2025年度	備 考
		予算額	決算額	予算額	
事業活動費	総 務 部	500,000	497,080	500,000	役員会活動経費、保険料、八幡神社例大祭
	管 理 部	900,000	818,822	900,000	防災委員会拠出金、敬老商品券、子育て商品券
	厚 生 部	800,000	643,262	850,000	押立公園夏祭り、文化交流事業等
	広 報	200,000	72,866	200,000	広報誌発行、ポスター作成等
	計	2,400,000	2,032,030	2,450,000	
運営費	備 品 費	100,000	282,730	150,000	パラソル等
	事務・消耗品費	150,000	25,002	150,000	事務用品、コピー代、ゴミ出し用ネット
	会 議 費	100,000	31,941	100,000	役員会会議関連
	総 会 費	250,000	117,432	200,000	議案書印刷等
	慶弔見舞金	200,000	60,000	200,000	香典等
	旅費交通費	10,000	2,400	10,000	
	通 信 費	0	0	0	
	役員手当	264,000	264,000	264,000	¥2000/月×2人×12ヶ月¥1000/月×18人×12ヶ月
	計	1,074,000	783,505	1,074,000	
予 備 費		100,000	0	100,000	
支出小計		3,574,000	2,815,535	3,624,000	
次年度へ繰越金		2,303,000	3,356,593	2,822,593	
合 計		5,877,000	6,172,128	6,446,593	

第5号議案

2025年（令和7年）度 役員選任

車返西自治会規約 第8条に基づき、下記会員を2025年（令和7年）度自治会役員として選任していただきたく提案します。

「車返西自治会個人情報取扱ルール」に基づき、役員名簿 (32P) はホームページには掲載いたしません。

選任された自治会役員は「車返西防災委員会会則 第3条 第3項」の規定により、2025年（令和7年）度、第46回車返西住宅管理組合通常総会において選任された管理組合理事とともに防災委員を兼任します。

【資料1】

各部の活動のまとめ（成果と課題）

2024年度 厚生部 活動のまとめ

新型コロナウイルスの影響で制約されていた自治会活動が、ようやく活気を取り戻し、再出発できた一年間になりました。従来以上に三街区居住者のコミュニケーション向上に務めました。

1. 鯉のぼり飾り ※文化交流実行委員会主催

開催期間：4月13日（土）～5月6日（月・祝）

3週間にわたり、33匹の鯉のぼりが今年も元気に三街区の空を泳ぎました。飾り付け初日に青年部「キラクナスミカ」が主催するキッチンカーパーティーが同時にみんなの広場で開催され、大人も子どもも大勢集まる大変賑やかな一日となりました。子どもたちに「塗り絵の鯉のぼりセット」と「お菓子」50セットを配り喜ばれました。

鯉のぼりの下で元気にはしゃぎ回る子どもたちの姿や、訪れてくださったデイサービスのお年寄りたちの朗らかな顔を見ると作業の苦労も吹き飛びます。

2. 七夕飾り ※文化交流実行委員会主催

開催期間：6月15日（土）～7月7日（日）

3週間にわたり広場に2本のロープを張り、30本の七夕飾り（吹き流し）を飾り付けました。また大竹2本には約200枚の短冊を飾り付けました。また、1週間前の6月9日（日）はキッチンカーパーティーが開催されたので、短冊を書くコーナーを設けたくさんの願い事を書いていただきました。

3. 押立公園夏祭り

開催期間：7月27日（土）～7月28日（日）

今年も「焼きそば」と「発泡酒・缶チューハイ・ジュース」を販売しました。

去年は焼きそばが早々に完売してしまったため、今年は約1,000食を用意しましたが、出店状況や来場者の増加もあり、両日とも午後6時を待たずに完売となりました。

た。物価上昇の中でなんとか「トントン」の収支となりましたが、来年更に材料費が上昇すると、支出が上回る可能性があります。

4. みんなの作品展 ※文化交流実行委員会主催

開催期間：10月6日（日）～10月12日（土）

第22回を迎えた「みんなの作品展」は7日間の期間中延べ457名と大勢の来場者を迎えることができました。今回も南白小児童、六中生徒たちの作品をはじめとして、100名以上の方々の出展があり、充実した作品展となりました。

5. 正月飾り作り ※文化交流実行委員会主催

開催日：12月21日（土）10時～

今年の正月飾りも（株）サーカス 様の協力により、「正月飾り」のワークショップを開催し、羽子板に花や葉を飾りつけした個性豊かな作品が出来上がりました。

6. スプリング寄席（講談） ※文化交流実行委員会主催

開催日：3月2日（日）13時～

今年は例年の音楽コンサートから趣向を変えて、寄席（講談）を開催しました。宝井琴鶴（真打）、宝井琴人（前座）のお二人の出演で、約60名の参加者があり、普段は直接聴くことができない、日本の伝統芸能を堪能することができました。

7. 桜&ウォーク

実施予定日：3月30日（日）

今年も昨年同様に、多摩川の堤防の桜を見ながらのウォーキングを予定しています。会場ではビンゴゲームやじゃんけん大会などを楽しんだのち、昼食を予定しています。

2024年度 総務部 活動のまとめ

居住者の皆さんが安心して生活できる環境を作るため、自治会活動がスムーズに実施できるよう基礎準備の応援をしました。

また、地域の所団体との協力関係を維持し、その行事運営に協力しました。各行事ともスムーズに開催でき、皆さんと共に楽しく実施することができました。

1. 役員会・総会等、定例会議の準備

役員会をはじめとする定例会議の会議室予約、会議当日の会場準備、および役員会の議題要旨作成を行いました。総会関連では、新役員への交代に向けた会議の準備、議案書配布ならびに委任状取りまとめに関する作業、および総会会場の準備・設営などをおこないました。

2. 自治会備品・消耗品等の管理

自治会活動に必要な備品や消耗品の管理を行うとともに、必要に応じ補充を行いました。

3. 地域諸団体との行事運営協力

年間行事予定が予定通り開催され、主幹行事ならびに各部への運営支援を行いました。

(1) フリーマーケット

車返地域のリサイクルを考える会主催の春・秋のフリーマーケットに参加しました。春は6月9日（日）、秋は11月3日（日）と、今年も4区画を活用し居住者の皆様からの多くの寄贈品を中心に出店し、賑やかでSDGsの視点からも有意義なフリーマーケットへの参加となりました。

(2) 八幡神社例大祭

9月7日（土）に向けて青年会と打合せを実施し、準備を整え、巡行当日の夕刻にはみんなの広場に老若男女約400名が集まり、昨年も大好評だった「うどん」などの接待をさせていただきました。

2024年度 管理部 活動のまとめ

居住者間のコミュニケーションを図り、安全で安心して生活出来る地域環境を目指し以下の活動を実施いたしました。

1. 多摩川清掃デー 【4月13日（土）】

「第51回多摩川清掃市民運動」を多摩川河川敷にて実施し、約20名の参加がありました。

2. 子育て商品券・出産祝い金贈呈 【7月14日（日）】

若い世代の方々と接点を持ち、住みやすく暮らしやすい街づくりを一緒に創り上げていこうと、自治会と管理組合が共同して行う取組みです。今年で第4回目となりましたが、申請者は32世帯、46名となりました。また、出産祝い金も2名に贈呈することができました。

岩井田警部夫妻のご協力で「車返団地駐在所臨時出張所」も同時開設していただきました。

来場者様と共にたくさんの笑顔で役員一同とても温かい気持ちになりました。

ご意見も頂戴しましたので、生活環境の改善や今後の自治会活動の発展に活かしたいと思います。

3. 敬老商品券贈呈と生活・健康なんでも相談室の開催 【9月15日（日）・16日（祝）】

今年で第21回目となる敬老商品券の贈呈を実施いたしました。申請者は昨年度より16名減少の331名となりました。手伝い隊の皆様のご協力を仰ぎながら70歳以上の方へ敬意と感謝の気持ちを込めて、敬老商品券(2,000円)と「オープンサロンの無料招待券」の贈呈を行いました。混雑することなく和やかな雰囲気の中、高齢者の皆様とコミュニケーションを図りながらスムーズに進行いたしました。

同時に別室では、「府中市地域包括センターおしたて」の出張「生活・健康なんでも相談窓口」と、岩井田警部夫妻のご協力で「車返団地駐在所臨時出張所」も開設いたしました。

ご来場いただいた方々より自治会への感謝と励ましのお言葉をたくさんいただき、安堵と充実感を得ることができました。

4. 秋の防犯パトロール 【11月11日(月)～11月15日(金)】

平日の16時20分に集合して地域周辺を3コースに分かれて防犯パトロールを実施。16時30分の「愛の鐘」に合わせて20～25分程度、子供たちの帰宅を促しながらの巡回です。

期間中どのコースも問題なく順調にまわることができました。

5日間で、延べ127名の方にご協力いただきました。

5. 地域清掃デー 【11月23日(土・祝)】

事前に自主清掃実施の旨を市に連絡をして、専用のごみ回収袋の提供を受け、車返団地三街区～武蔵野台駅周辺にて地域清掃活動を実施いたしました。当日は25名に参加していただき、地域の方々からは感謝の言葉も頂くことができました。

6. 年末・年始の防火・防犯パトロール 【12月21日(土)～1月10日(金)】

防災委員会が主管となり、年末から年始(12/31～1/3は休み)の期間、夜の寒い中20時30分に管理事務所前に集合して、2コースに分かれて拍子木を鳴らし「火の用心、戸締り用心、火の用心」の掛け声で団地内を巡回、パトロールをしました。巡回中には感謝、励ましの言葉をたくさんいただき大変励みになりました。また、クリスマスイヴには多数の子供の参加、そして今年は居住者の方のご友人でフランスから来日していたご家族の参加もありました。17日間の参加者は68名、延べ人数410名となりました。

7. 朝の資源回収(財源の確保) 毎週の水曜日と隔週の火曜日

毎週水曜日は市の「古紙、布類」の回収日にあたり、隔週の火曜日は「缶」等の回収日ですが、市の子承を得て、少しでも自治会の財源にと毎週7時半頃に役員がそれらの回収に努めております。出来ましたら、これらの資源は第1、第3、第5の奇数の土曜日に出していただければ自治会の収入になり、(市と回収業者からも補助金が出る)毎水曜日と隔週火曜日に回収する役員の負担も減りますので、何卒ご協力をお願いいたします。

敬老商品券等の財源は、皆さんが出される資源回収が原資になっておりますので、ご協力の程、宜しくをお願いいたします。

2024年度 広報部 活動のまとめ

自治会の活動の様子を皆様方に分かりやすくお知らせするために、写真を交えて広報誌「マイタウン西」を発行しました。広報誌を「車返西自治会ホームページ」にも掲載することで、居住者だけでなく三街区以外の方々にも魅力をお伝え出来たと思います。今後も、役員全員で協力して、住民の皆様に寄り添った情報をお伝えしてまいります。

1 活動内容

(1) 年6回 自治会広報誌「マイタウン西」を発行

- ・開催イベントに参加して写真撮影を行う
- ・原稿をイベント担当部長へ依頼し、収集する
- ・地域の催事を取材して写真を撮影し、原稿を作成する
- ・レイアウトを編集し、紙面を作成して印刷業者へ発注する
- ・役員全員で分担して全戸に配布する

(2) 押立公園夏まつり引換券の印刷

- ・「焼きそば」と「飲み物」引換券の印刷

2 自治会広報誌『マイタウン西』の発行

第181号（2024年5月31日発行）

2024年度「車返西自治会」発足（会長挨拶）、鯉のぼり作り、
第43回定期総会報告、新役員からのメッセージ

第182号（2024年7月31日発行）

三街区七夕飾り、春のフリーマーケット、子育て商品券・出産祝い金贈呈、
役員コラム

第183号（2024年9月30日発行）

押立公園夏祭り、八幡神社例大祭、キラクナスミカの活動、元気会（PKK）の活動
車返農園「ミニ・トマト狩り」、敬老商品券、役員コラム

第184号（2024年12月7日発行）

みんなの作品展、秋のフリーマーケット、地域清掃デー、FOP（駐車場の未来）に
ついて、キラクナスミカについて、スマホ講習会、役員コラム

第185号（2025年2月14日発行）

正月飾りづくり、年末年始防火・防犯パトロール、芋煮会、府中市消防団の放水
「魅力ある20年後の三街区を考える会」について、役員コラム

第186号（2025年4月15日発行予定）

スプリング寄席、桜&ウォーク、PKK日帰りバスツアー、役員コラム、他

【資料2】 『修正版』 2

(★印のアンダーライン部分) = 具体化した課題 又は 検討中の課題

【第5回 2025年の三街区を考える会レジュメ】

2021.4.10

1、開催の主旨

4回にわたり「2025年（10年後）の三街区を考える会」を開催し、多くの皆様から貴重なご意見を頂いてきました。ご意見は「若い世代への働きかけの強化」「コミュニケーションの推進」、及び「集会所の改修、第2集会所の建設」という三本の柱にまとめられ、話し合いを続けてきました。これまで沢山の成果があった一方、まだ不十分な課題も多く残されています。

2020年度は管理組合との「相互理解と協力関係」が大きく前進し、残された課題を解決する土台が、これまで以上に強化された年になりました。4回にわたる話し合いの「成果を確認」し「残された課題」を解決していくことを目指し、「第5回 2025年の三街区を考える会」を別紙のように開催いたします。

2、「考える会」の開催で前進した課題の確認

4回にわたる「2025年の三街区を考える会」の中で、前進的に解決された多くの成果について、確認をしておきたいと思います。

①、管理組合との協力関係の強化

これまで自治会と管理組合では数名ずつの参加で「情報交換会」を隔月で開催してきました。しかし「自治会」「管理組合」という組織の枠を越えて、今後の三街区に関する問題意識を共有し、協力し合うこと無しには、三街区の活性化と継続性を維持することはできないとの共通認識を持って、2020年12月に、初めて自治会役員と管理組合理事の有志17名の参加で「今後の三街区について意見交換の場」を開催することができました。

課題となっていた、若い世代への積極的なアプローチに加え、自治会だけでは対応が難しかった建て替え問題など、ハード面への対応をふくめた意欲的な意見が多く出されました。今後も話し合いを継続したいとの意見が出されています。

また「防災委員会会長」は「管理組合理事長」と「自治会会長」が交互に努めることも合意し(規約改正済)、理事長が「防災委員会会長」を努めて2年目になります。

「困りごとヘルパー制度」や「野良猫対策会議」等々でも、自治会と管理組合との連

携が前進し、「自治会」と「管理組合」の「問題意識の共有」と「協力関係」が一層前進しています。

②、自治会サポーター制度の大きな前進

『役員以外の方が自治会活動に参加し、支援することで、自治会活動の一層の活性化と継続性を図ることを組織的にできないか？』との意見を受け、2017年10月から、自治会サポーター制度を発足させました。発足後の行事は、蛍光イエローのベストにオレンジ色の文字が光るサポーターの活躍が目立っています。「押立公園夏まつり」「春、秋のフリーマーケット」「八幡神社例大祭」「敬老商品券の贈呈」「桜&ウオーク」「文化交流実行委員会の行事（鯉のぼり、七夕、みんなの作品展、・・・）等々、自治会活動に留まらず、防災委員会活動でも活躍が目立ち、多数の方々の協力が居住者の一体感を強くし、地域活性化の大きな力となっています。現在50名の方々が登録しています。（随時受付中）

③、「困りごとヘルパー制度」の発足と運用開始

『個人や家族での対応がどうしても困難な場合に、組織的に手助けできないだろうか？』との意見を踏まえ、管理組合が既に実施していた「粗大ゴミの搬出・運搬サポーター」制度とタイアップし、自治会と管理組合が共同で2019年1月より「困りごとヘルパー制度」の運用を開始しました。

現在16名の方々がヘルパーに登録してくださっています。発足から2年間で約30件の依頼に対応してきました。1回の費用が500円と安価で、高齢化が進む中で安心して三街区で生活できる大きな力になっており、利用者からは感謝の声をいただいています。

④、車返農園の充実

「農園活動を通じて居住者のコミュニケーションを広げたい。」という趣旨に地主さんが賛同し、100坪以上の土地を無償で提供してくださいました。

昨年度の八幡神社例大祭では「うどん」用の薬味として「ねぎ」「みょうが」「大葉」などを大量に農園から提供していただきました。又炊き出し訓練でも大量の「ネギ」を格安で農園から提供していただきました。

初年度3名だった子供の「トマト摘み」は、3年目の2020年度は保護者を含め参加者が50名を超え、「きゅうり」「とうもろこし」「トマト」の販売なども次第に活動の広がりを見せ、購入者が増え、居住者への認知度も上がってきました。農園の整備と拡張も順調に進んでおり、居住者のコミュニケーションを図る活動の一層の前進と拡大が期待されています。

⑤、若い世代と子ども達への働きかけの前進

自治会と管理組合の役員が一緒に「今後の三街区について意見交換の場」を持ち、問題意識を共有できたことで、2021年度から「若い子育て世代への支援策」を実施することが両方の役員会で承認されました。

具体的には『①三街区に居住する0歳から12歳までの子ども一人につき、年間2,000円の「子育て商品券」を贈呈する。②三街区居住者の出産に「出産祝い金」10,000円を贈呈する』以上の2点が、総会提案後、2021年度から実施できる見通しとなりました。 ★(2021年12月19日、第1回を実施)

若い世代と子ども達への働きかけでは「押立公園夏まつり」で「焼きそばと飲み物無料券」の贈呈、「みんなの作品展」で南白小児童の作品展示、南白小ウインドアンサンブル部の「スプリングコンサート」への出演、「PTA33地区委員会」との懇談会継続等々の工夫をしてきました。

若い子育て世代や、子ども達の活動参加は、自治会の活性化と継続性にとって欠かせないものと理解しており、今後も力を入れて取組みを強化していきたい課題です。

★(車返西住宅の青年部として、キラクナスミカが2023年12月から活動を開始。)

3、残っている課題と新たな課題

残っている課題については、第1回～第4回の「2025年の三街区を考える会」で出された参加者の意見を「3本の柱」に沿ってまとめました。

第1の柱、若い世代への働きかけの強化

◎若い世代・現役世代の声を大切に

1、敬老商品券以外に若い方へのお祝いの贈呈。

(小学校入学祝い、結婚祝い等) ★(子育て商品券・出産祝い金を21年に具体化)

2、若い世代が自治会や地域に何を期待しているのか丁寧な調査を実施する。

是非、管理組合への期待も含めて。★(21年12月にアンケート実施、資料3参照)

3、入居検討中の若い世代を増やすための具体策の検討を。★(ホームページを開設)

4、face book、X(旧ツイッター)などSNSを活用し若い世代に合わせた情報発信の仕組みを作る。同様に若者向けの問い合わせ窓口を設置する。

継続性が大切、自治会内でしっかりと共有、共通理解をする。★(同上、検討予定)

5、公園遊具の見直し、子ども(特に年低学年用)の公園の充実化。

★(管理組合検討中)

6、若い世代バージョンのサロン、建物(団地)の中に保育園、学童を作りたい。

7、共働き家庭へのサポート、

子どもの留守番、個食、帰宅後の遊び場の確保、子育て用品の貸し出し、映画会

(子供の好きな映画)の無料上映。乳児、幼児が遊べる場所の設置。

★(PKKが映画上映会検討中) ★(洋室2のフリースペース化の検討)

8、赤ちゃんを産む時、育てる時の相談窓口設置。

9、子育て家庭へのサポート、悩み相談。両親が安心して働ける環境作り等。

10、府中ファミリーサポートセンターを活用する。

11、三街区に働き口を作る。

12、子育て世代のネットワークを考える。若い人だけの集まり、交流を深める。

13、若い世代との飲み会を行う。話し合いの場を設ける。

14、子育ての先輩から意見を聞ける機会と場所を作る。

15、子ども達と高齢者との交流の場を設定する。

★(キッチンカー、おキラク堂、じゃんけん大会、ビンゴ大会、クイズラリー等々)

16、共用施設の更新(カーシェアリング、) ★(2街区にカーシェアリング)

★(レンタル電動自転車は設置有り)

17、南白小PTA及び33地区委員会との連携の強化。

18、車返農園を充実させ、子ども達(小3)対象の収穫祭を行い、若い親にも参加してもらい、自治会活動の一端を理解してもらう。 ★(実施中)

19、児童・生徒への働きかけを重視する。

- ・小学校、中学校の掲示板。
- ・先生方から直接生徒への説明。
- ・生徒代表との直接コミュニケーション。等々の検討。

第2の柱、コミュニケーション、健康づくりの一層の推進

◎挨拶

1、挨拶運動の継続実施。★(実施中)

挨拶は勝手な押し売りから、相手の反応が良ければ嬉しい。反応がなければ割り切る。これの繰り返しでコミュニケーションづくりの大きな力になる。

◎健康づくり

2、ラジオ体操、太極拳、高齢者向け体操教室、ウォーキングの会、脳トレ、

★(練功十八法教室実施、毎週サロンで体操教室実施。週5日 朝の健康体操実施)

3、健康寿命へのアプローチとして各種料理教室と各種運動教室(集会所横広場の利用) ★(サロンで毎月1回、味の紹介を実施中、PKKが調理講習会実施)

4、「運動(ゲーム含む)」と「食」をコラボした行事の開催。

5、健康に関する情報(資料)を何度でも提供する。

◎マイタウン西の活用

6、「私の自慢料理」「三街区のサークル活動」等々をマイタウン西で継続紹介
★(一部紹介中)

◎SNSの活用で宣伝を

7、face book、ホームページ開設、メール・LINEなど利用の促進。

★(一部活用中)

8、HPの作成運営を持続的に行う。★(22年度から開設、プロの協力者あり)

◎高齢者対応

9、棟毎に複数人の高齢者世話役をお願いする制度の創設はどうか？

10、高齢者の日々の買い物、通院、食事のサポート。

11、要援護者への対応・システム作りのために包括センターと連携する事が必須だと思います。集会所は優先して、介護予防教室や認知症カフェを取り入れていったほうが良い。★(介護予防教室開催中)

12、緊急時の対応については、「府中市の緊急通報システム」を基本として紹介し広めていく。★(紹介で設置世帯あり、改訂版を発行予定)

13、府中市、管理組合、包括支援センター、社会福祉協議会、生き生きプラザ、体育館と連携し高齢者支援の仕組みをつくる。

・介護予防事業(体操や講座など)をもっと積極的に活用する。★(一部利用中)

・府中市内や近隣でのイベントを積極的に紹介しPRをする。

14、情報不足で介護保険や医療保険で、専門的かつ効果的な支援を受けられる機会を逃さないように、地域で支援システムを作っていく事が大切だと思います。担当のケアマネージャーや包括支援センターと連携、相談をすることを前提としたほうが良い。★(包括との連携、相談 一部実施中)

15、シルバー世代の参加で保育園を運用できれば。

16、留守番電話・転送電話など含めて電話による相談窓口を設置する。

★(車返団地駐在所と連携し、一部 防犯用 留守電を設置済み)

17、最後を迎える時の相談窓口設置。

◎行事の設定

18、寄席の会や講談の会の開催。★(文化交流実行委員会行事として開催)

19、料理教室の開催。★(サロンで開催中)

20、シアターの開催。★(PKKが開催を検討中)

◎その他

21、自治会のサポーター制度は管理組合も包括する三街区全体の制度とするのが望ましい。

22、起業と働き場所の創生。

23、入居時に、自主管理ということを徹底する。

★(21年以降、新入居者説明会開催)

24、サロン(喫茶)スペースの増設。若い世代が参加しやすい土曜日、日曜日開催。

第3の柱、現集会所の改修、第2集会所の建設などの意見

◎集会所の改修等について

- 1、和室と押し入れを洋室に改修し、物置を新しく外に設置する。
★（2020年12月に改修終了済み、外に物置 設置済み）
- 2、集会所全体をバリアフリー化する。
- 3、集会所全体を外履きで入室できるようにする。
★（敬老商品券贈呈時、作品展開催期間中など 実施中）
- 4、洋室南側の芝生を平らにし、恒常的ベンチや日よけ、雨よけ用の屋根付きテーブルの設置（又は屋根の設置）などを検討する。
★（広場にはパラソル、テーブル、椅子を設置）
- 5、洋室内に扇風機又は攪拌器を設置する。（又は吹き出し口が四方にあるエアコンを洋室中央に取付ける。）★（洋室1に攪拌用扇風機2台設置）
- 6、和室道路側の庭を洋風に改修。又はフラットにして出入り自由に。
- 7、洋室入り口に向かって右側のドアを左開きにする。
- 8、洋室にテレビ、イス、机の新規購入、卓上IHの購入。★（机新規購入済み）

◎洋室の増設について

- 9、洋室前の庭に厨房設備のある洋室を増設しパーテーションで仕切る。
普段は二室で利用、集会・総会等では一室として利用。
- 10、12年前（2006年）の洋室増設検討時の資料を参照する。

◎第2集会所（多目的ホール）の建設について

- 11、三街区の緑地又は公園内に、第2集会所を一時的に建設することは喫緊の課題。一時的とは現集会所の増改築が整うまでとする。
A、B駐車場の利用も検討する。
- 12、第2集会所は、一階に広い多目的ホールを持つ二階建てに。
Wifi 設備、ランケーブルや光ケーブルの設置、パソコン、コピー機の設置、受付自治会事務所、子どもコーナー、厨房設備、オーディオ設備、防音設備、プロジェクター、自販機置き場所設置、展覧会用移動パネル、オープンサロンの用途の円テーブルなど配置。（都心の貸会議室をイメージ）。
★（集会所前に自販機設置済み）

◎具体化のためには

1、管理組合との協力、共同

集会所の改修、増築、第2集会所の建設など、いずれも管理組合との協力、共同が大切な内容です。課題を共有し協力しあっていくことが重要と思います。
他団地の事例調査・住民説明会・アンケート調査等々が必要。

2、法的問題、他団体との調整、情報開示等々

増築、新築には建蔽率、容積率、一団地指定など法的問題、1街区・URとの調整、府中市との調整をクリアすることが条件となる。

検討項目

- 1、12年前（2006年）に実施した増築計画の経緯の確認
- 2、将来的にA駐車場敷地に建物を建築する事の可否の検討
- 3、法律的、予算的にどの程度の規模の建物の建築が可能かの検討

13、コンサート、総会、展覧会、講習、講演、学習、ダンス、体操、ヨガ、太極拳、認知予防や頭の体操、口腔衛生、調理教室、栄養に関する講話や実習、囲碁、将棋、カラオケ、喫茶等、コミュニケーションコーナーや茶の間の空間。
等々が出来る広さを確保。

14、ウッドデッキの新設、芝生部分の整地。

15、老朽化対応の方向性の話し合い、★（20年後の三街区を考える会を開催）
（建物はあと何年もつか？、補修で延命は可能か？、将来建て替えは可能か？）

16、俯瞰より細部へ：2025年のグランドデザイン（イメージ）の作成。

17、実行委員会の設置：管理組合（ハード面）と自治会（ソフト面）2組織が本件の認知・確認・組織決定後に第3者組織の“実行委員会”を設置する。

18、2025年問題で構築した三街区のイメージテーマの作成について

- テーマ：例～“ ゆりかごから墓場まで安心して暮らせる三街区 ” の構築。
- 実行委員会を設置する。
- 組織：管理組合理事2名、自治会役員2名、有志居住者6名の10名で構成。
- 調査活動～日住協、東京都、府中市行政、若葉台団地等の事例研究調査。
- グランドデザイン（イラスト）とアクションプログラムの策定（BSC 5W1H1Cで構成）進捗管理・見直し及び広報活動など。
- 管理組合及び自治会への提言。
- 活動費の補償。

19、厨房設備を整え。

- *高齢者向け健康食の講習会を開きたい。
- *子ども食堂を開きたい。
- *高齢者の食事会を定期的にやりたい。
- *クッキー教室をやりたい。
- *男の料理教室を開催したい。

20、増設又は拡充で。

- *土曜日か日曜日にサロンを開催して欲しい。
- *ビーズ等の手芸講習会などをやりたい。★（サロンで毎週実施中）

- *誰でも無料で自由に使えるスペースと設備が欲しい。★（洋室2の使用を検討中）
- *教室への参加希望者がいるが、狭くて受け入れ出来ない。
- *子ども達が放課後や雨の日などに自由に使える屋内スペースが欲しい。
- ★（洋室2の使用を検討中）

21、設備を充実させて

- *物置を設置する等サークルの備品等を気兼ねなく置けるスペースを作る。
- ★（サークルの備品置き場として物置設置済み、25年2月新しく物置設置）
- *大画面でDVD鑑賞など、皆んなで懐かしの名作を鑑賞したい。★（24年、管理組合が大型スクリーン購入）
- *集会所に外履き（履き替え無し）で入れるようにする。★（行事で実施中）
- *エアコンを改善（頭が暑く、足元が冷たい。）する。
- *高齢者の一人世帯の人が、デイサービスの他に昼ご飯をとったり、お茶を飲んだり（ラジオ）体操できたり、人に会う機会を持てる場所を作る。

22、ここ三街区においても骨幹となる（例：建替え、今回の集会所増設等）議題にあっては、手間はかかるが、全住民へのアンケート方式が良いと考えます。

- *10階建の高層マンションにする。
- *半分を売却して建設費に充てる。
- *計画を検討する業者を見つける。

23、階段に手すりを設置する。（一街区を参考に）

24、団地内の施設の利用だけではなく、押立体育館・文化センターの会議室などの既存の市の施設の積極的利用促進・啓蒙活動も考えるべきでは。

25、府中市は「協働」のスローガンを謳っている。市とのパイプを太く。

26、一団地計画による建蔽率・容積率の法的問題のクリアを。その後は組合員の同意の獲得、登記の変更、組合員による新たな費用負担などが必要になる。

27、現状のままにするか、建て替えにするか？いずれにしる組合員の話し合いによる合意が必要。建て替えは大変。現実を直視し、腰を据えて考える。

28、一人一人の生活状況は違っている。どうするかは別として、まず話し合いの場を作り、合意形成を図る。★（魅力ある20年後の三街区を考える会の開催）

29、築40年で高齢者が多くなっている。4回目の大規模修繕になるなら、動けるうちに委員会（プロジェクトチーム）を作り具体化を。

30、情報発信を丁寧に。組合員に現状をもっと知らせる。アンケートの活用。

31、参加者はハード面の不安を認識しており、情報を求めている。動き出す時期。

注：2025年、第44回定期総会議案書の【資料2】として、再掲載
 （★印のアンダーライン部分） = 具体化した課題 又は 検討中の課題

子育て商品券贈呈時のアンケート結果

問1、これまでに参加されたことのあるイベントについて回答してください。(複数回答)

定期総会20% 桜&ウオーク10% 鯉のぼり作り26%
フリーマーケット52% 七夕飾り作り20% 押立公園夏まつり74%
みんなの作品展23% 正月飾り作り10% 地域清掃デー30%
八幡神社例大祭20% スプリングコンサート7%

問2、自治会広報誌『マイタウン西』を見たことがありますか？

●毎回見る (58%) ●時々見る (29%) ●見たことがない (13%)

問3、階段下掲示板に掲示している自治会の情報 (ポスターなど)を見えていますか？

●特に気を付けて見ている (25.8%) ●外出時に見ている (71%)
●見ていない (3.2%)

問4、個人で集会場を利用したことがありますか？

●ある (16.1%) ●ない (83.9%)

問5、車返西住宅に多目的ホールがあったら利用 したいと思いますか？

●利用したいと思う (43.3%) ●利用しないと思う (56.7%)

問6、雨の日に子どもが遊べる場所が必要 と思いますか？

●必要と思う (77.4%) ●必要と思わない (22.6%)

問7、子育て世代の座談会があれば参加 しますか？

●参加する (3.2%) ●都合が合えば参加する (61.3%)
●参加しない (35.5%)

問8、子育て中の悩み事を誰かに話 したいと思った ことはありますか？

●ある (67.7%) ●ない (32.3%)

問9、子育て世代のみんなと話をする機会がありますか？

- ある (45.2%) ●あまりない (41.9%)
- まったくない (12.9%)

問10、子育て世代向けのくつろぎサロンの様なものがあれば利用しますか？

- 都合が合えば利用する (61.3%) ●利用しない (35.5%)
- 利用する (3.2%)

問11、ベビーカーや幼児自転車で不便がありますか？

- ある (35.5%) ●ない (64.5%)

◆答えてくださった方の性別

- 女性(67.7%) ●男性(32.3%)

◆答えてくださった方の年齢

- 20代(6.4%) ●30代(25.8%) ●40代58.1% ●50代以上(9.7%)

◆三街区の居住年数

- 10年未満(45.3%) ●10年～19年(38.7%) ●20年～29年(6.4%)
- 30年～39年(6.4%) ●40年以上(3.2%)

記述回答

◆子ども達に新たなイベントの要望はありますか？

- *餅つきとか一般家庭ではなかなかできないイベント、*ワークショップ、
- *スポーツ大会、*カラオケ

◆問5で、多目的ホールを利用したいと回答された方にお伺いします。どの様に利用したいと思いますか？

- *楽器の練習、*自習室、*学校の役員での話し合い、*子供の遊び場、
- *打ち合わせ、*クリスマス会やハロウィンパーティーで、*ふれあいの場として

◆問6で、雨の日に子供の遊ぶ場が必要ないと回答の方、理由をお聞かせください。

＊家で遊べば良いかと思う、また作った場合見守る大人が必要になると思うので。

＊現時点では子供もまだ歩かないので、お家で遊ぶ程度で十分であるから。

＊梅雨でもなければ雨の日まで遊ばなくても良いかと思う、

＊体育館・自宅があるため、

◆問11で、ベビーカーや幼児自転車で不便と感じた内容をお答えください。

＊置く場所がない、＊部屋に持ち帰るのが大変、＊階段の上り下りが辛い、

＊自転車が出しにくい、＊場所が移動されてるので屋根から出て濡れるなど、

＊自転車置き場が狭く出しにくいです、一番近い駐輪場の屋根が半分しかない、

＊今は利用しないが利用当時、置いておくスペースがなかった、

◆役員の順番が回ってきた際に不安に思っていることや質問等をお聞かせください

＊日曜日が潰れてしまうと聞いているので、家族の時間が持てないのではないかと不安。会議の始まる時間が遅いので、家を留守にするのが難しい。

＊仕事、子育てをしながら任務をこなせるか不安である。

＊仕事と家事の間で月1回の会議で土曜に時間を空けるのは正直辛いです。回っても出来るかわかりません。 ＊時間の都合がつかない場合の対処法、

＊どんなことをどれだけやっているかわかっていなかった。

＊自分には不向きなのでやりたくありません、

＊役員の仕事がこなせるかどうか不安、 ＊時間に余裕がない、

【資料4】

車返西自治会 個人情報取扱ルール

制定 平成30年10月14日

（目的）

第1条 この取扱ルールは、車返西自治会（以下「本会」という。）が保有する個人情報について適切な取り扱いを確保することを目的として定めます。

（責務）

第2条 本会は、個人情報保護に関する法律（以下「法」という。）等を遵守するとともに、自治会活動において個人情報の保護に努めます。

（周知）

第3条 本会は、この個人情報取り扱いルールを、総会資料と一緒に会員に配布することにより周知します。

（管理者）

第4条 本会における個人情報の管理者は、会長とします。

2、管理者はこのルールに従って個人情報が適正に取り扱われていることを確認し、取り扱い状況について定期的に点検します。

（取扱者）

第5条 本会における個人情報の取扱者は、役員と会長の指示を受けた者とします。

（秘密保持義務）

第6条 個人情報の管理者・取扱者は、職務上知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせ、又は、不当な目的に使用しません。その職を退いた後も、同様とします。

（個人情報の取得）

第7条 本会は、会長が「車返西自治会加入届」などを、会員又は会員になろうとするものから受理することにより、個人情報を取得します。

2 要援護者の支援等のため、法に規定する障害や病歴などの要配慮個人情報を取得する際は、本人の同意を得て取得します。

3 本会が会員から取得する個人情報は、氏名（家族、同居人を含む）、生年月日、性別、住所、電話番号、メールアドレス、緊急時の援護の要否等（緊急時連絡先、その他連絡事項等）で会員が同意する事項とします。

4、本会が会員名簿に記載する個人情報は、氏名、号棟、電話番号で会員が同意する事項とします。

（利用）

第8条 本会が保有する個人情報は、次の各号に掲げる活動等に際して利用します。

- （1）会費の請求、管理、その他文書の送付など
- （2）車返西自治会規約第3条「目的」の達成に必要な活動
- （3）災害等や緊急時の救助や支援の活動
- （4）災害時に備えた要援護者との日頃からの関係づくり

（管理）

第9条 本会が保有する個人情報は全て適正に管理します。

2 電子データはパスワードで保護されたPCに保管します。

3 紙媒体の個人情報は鍵のかかる場所（施錠つきロッカー）に保管します。

4 不要となった個人情報は、適正かつ速やかに復元不可能な状態にして廃棄します。

（提供）

第10条 個人情報は、次に掲げる場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者（委託、管理組合、防災委員会を除く）に提供しません。

（1）会員本人から個人情報を取得する際に伝えて同意を得ている範囲で提供する場合。

（2）法令に基づく場合

（3）人の生命、身体又は財産の保護のために必要で急を要する場合

（4）公衆衛生の向上、又は児童の健全育成の推進に必要がある場合

（5）国の機関、若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が、法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合

（第三者提供に係る記録の作成等）

第11条 取扱いは、個人情報を第三者（都、市役所を除く）に提供したときは、第三者提供に係る記録を作成し保存します。

（第三者提供を受ける際の確認等）

第12条 取扱者は、第三者（都、市役所を除く）から個人情報の提供を受けるに際しては、第三者提供を受ける際の確認を行い、記録を作成し保存します。

（開示）

第13条 会員は、第7条の規定に基づき提供した会員本人の個人情報について、個人情報管理者に対し開示を請求することができます。

2、個人情報管理者は、会員本人から会員本人の個人情報の開示について請求があったときは、法第28条第2項に該当する場合を除き、本人に開示します。

（個人情報の訂正等）

第14条 会員は、第7条に基づき提供した会員本人の個人情報について個人情報管理者に対し訂正等を求めることができます。

2 前項の請求があった場合、個人情報管理者は直ちに該当する個人情報の訂正等を行います。

（漏洩発生時等の対応）

第15条 取扱者は、個人情報を漏洩、滅失、毀損などの事案の発生又はその兆候を把握した場合は、管理者に連絡します。この場合において管理者は、事実および原因の確認、被害拡大の防止、影響を受ける本人への連絡、再発防止等の対応を行います。

（開示請求及び苦情相談窓口）

第16条 車返西自治会における、開示請求及び苦情相談窓口は副会長とします。

＊本会が保有する個人情報は「車返西住宅管理組合」又は「車返西防災委員会」が「個人情報取り扱いルール」を制定した時点で、それぞれの組織と共同利用できるものとします。

（附則） この個人情報取り扱いルールは、平成30年11月1日から施行します。

【資料5】 歴代役員一覧

「車返西自治会個人情報取扱ルール」に基づき、
歴代役員一覧（52P～57P）は、ホームページに
は掲載いたしません。

発 行：車返西自治会

住 所：府中市白糸台4-44-1

車返西住宅管理事務所内

電 話：042-362-5432

ホームページアドレス

kurumagaesi.com

発 行：2025年4月6日

